

令和 7 年度 事業報告書目次

I	建学の精神・理念	1
	(1) 燈影学園校是	1
	(2) 学園歌	1
	(3) 建学の精神	1
	(4) 教育理念と教育方針	1
	(5) 沿 革	2
II	令和 7 年度事業のあらまし	6
	(1) 学校法人としての流れ	6
	(2) 一燈園高等学校	6
	(3) 一燈園中学校	6
	(4) 一燈園小学校	7
	(5) いずみ幼稚園	7
	(6) 燈影ホームガーデン	7
III	学校法人の概要	9
	(1) 設置する学校の概要	9
	(2) 役員の概要	10
	(3) 教職員の概要	10
IV	理事会開催の記録	12
	令和 7 年度 燈影学園の各学校・園が目指す姿	14
	(1) 共通事項	14
	(2) 一燈園高等学校	14
	(3) 一燈園中学校	15
	(4) 一燈園小学校	15
	(5) いずみ幼稚園	16
V	令和 7 年度事業実績報告	17
	(1) 寄附金の募集	17
	(2) 創立 100 周年記念事業計画	17
	(3) 施設・設備関係	17
	(4) 感染症対策等健康管理の徹底	17
	(5) 一貫教育への取組	17
	(6) 基礎学力の徹底	18
	①国語力向上	18
	②漢字能力向上	18
	③外国語能力向上	18
	④繰り返し指導	18
	⑤習熟度別指導	19
	(7) 特色ある教育の推進	19
	①一燈園学習	19

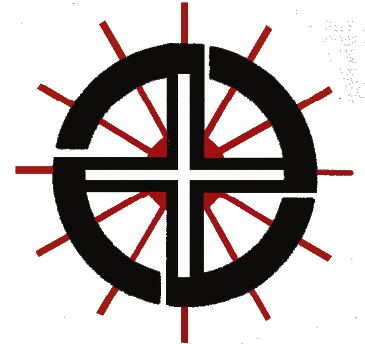
②平和学習・人権学習	21
③伝統文化学習	23
④自然体験学習	25
⑤幼稚園・小学校一貫教育の推進	25
⑥子育て支援事業の推進	26
⑦情操教育	26
⑧安全教育	28
⑨キャリア教育	29
(8)国際理解と国際交流の推進	29
(9)広報・幼児児童生徒募集活動の強化・活性化	30
(10)地域社会への貢献	30
(11)天香奨学金	31
(12)教師力向上	31
(13)進路実績	31
(14)経済的な事情のある児童生徒への支援	32
(15)働き方改革への対応	32
(16)事務の効率化	32
VII 学校評価結果	34
(1)自己評価結果	34
(2)学校関係者評価結果	36
①小学校・中学校・高等学校の保護者、教職員	36
③いずみ幼稚園の保護者、職員	42
④燈影ホームガーデンの保護者、職員	43
VIII 令和7年度決算	45
〈学校会計について〉	45
(1)収支計算書	47
(2)財務分析	50

I 建学の精神・理念

(1) 燈影学園校是

行 餘 學 文

(行じて余力あれば文を学ぶ)



(2) 学園歌

このくらし

西田天香 作詞

近藤義次 作曲

このくらし ^{おし}せよと^{おし}教えて おのれ^{おし}まず
^{ぎよう}行じたまいし ^{ちちはは}父母とうと

(3) 建学の精神

「行餘學文」(行じて余力あれば文を学ぶ)は論語『学而篇』にある一節である。
その意は

「人間が生きていくには学問は最も大切なものである。

しかし、その学問に勝って更に大切なものが行である」にある。

一燈園の教育は、昭和5年の一燈園生活者の子弟のための燈影小塾という私塾に始まる。

一燈園生活者とは、西田天香の一燈園生活の精神に共鳴し、その「争いの種とならない生活」実践を行っている人々のことであり、その思想の中心は『自分自身の存在が既に争いの種となっている可能性を懺悔しながらも、大自然に生かされていることに感謝し、大自然への恩に報いるために、行を行う』ところにある。

そのため、昭和8年の尋常小学校としての正式認可後も、教科の学習はもちろんであるが、争いのない生活を求める精神性と実践性を大切にしてきた。

昭和42年度に地域の一般家庭の就学前の子弟を対象としたいずみ幼稚園を開園し、平成元年度には小学校・中学校・高等学校も一般家庭の子弟の募集を開始。本学園に学ぶ幼児児童生徒は一般家庭の子弟がほとんどとなった。しかし、「大自然に感謝しながら、大自然への恩に報いるために行じる」という本学園の教育の本質は変わらない。

現在では、それぞれの幼児児童生徒が、学問を通した日常生活のなかで天性を磨きながら自分にふさわしい「行」とは何かを模索している。

(4) 教育理念と教育方針

本学園は西田天香が創始した「一燈園生活」の精神の下に「大自然に^{かな}適う教育」を行っている。一燈園はいわゆる宗教ではないが、創始者の願である「個人の完成と成就」と「人類平和に寄与できる人材育成」を目標に、人格形成の基礎が身につくよう

「祈り」「汗」「学習」を三本柱とした一貫教育を行っている。

一燈園生活の実践のためには「許されて生きる」生活教育、「全ての宗教の真髄を尊ぶ」宗教教育、「人類普遍の理による」平和教育が必要であり、教室でのテキスト学習や自ら汗を流す体験学習で「自分のいたらない点への反省」や「弱者と喜びや悲しみを共有」する精神を養い、「他者への奉仕」を実践することで「個人の完成と成就」と「人類平和に寄与できる人材育成」を完成させる。

また、ここでいう「祈り」とは、自己の生命の根源を探る中から大自然の神秘性に気づき、大自然・家族・友人へ感謝する普遍的な宗教性・精神性であり、一宗派教派の礼拝とは異なるものである。

「汗」は、奉仕活動など自ら汗を流すことにより社会のお役に立つ体験を行うことであり、単なる労働の汗ではなく、又もちろん、いわゆるスポーツの汗でもない。

「学習」は基礎・基本の徹底に重点を置いた学習を行っている。カリキュラムも進学・受験を目指したものではないが、卒業生の中には国公立大学へ進学した者も出ている。

(5) 沿革

明治 5 年	2 月 1 0 日	天香さん 滋賀県長浜町（現長浜市）に誕生
明治 3 7 年		天香さん 長浜愛染明王堂に参籠、赤児の泣き声に大覚、新生活始まる
大正 1 3 年	1 1 月 3 日	「燈影小塾」開設
昭和 5 年	7 月	光泉林の地に燈影学園幼稚部及び小学部誕生
昭和 8 年	8 月 3 1 日	「燈影学園尋常小学校」設立認可。学校長に相武次郎氏就任
昭和 1 2 年	9 月	相武次郎氏、帰光。鈴木五郎氏、学校長に就任
昭和 1 4 年	3 月	燈影尋常小学校に高等科併置
昭和 1 6 年	3 月	鈴木五郎氏、学校長退任。伯左門氏、学校長に就任
昭和 1 6 年	4 月	国民学校令による燈影学園と改称
昭和 1 7 年	3 月	伯左門氏、学園長退任。笹原仁太郎氏、学園長に就任
昭和 1 7 年	8 月	「一燈園夏の集まり」に「小国民班」を編成
昭和 2 1 年	4 月	燈影学園「青年学校」正式認可
昭和 2 1 年	1 0 月	青年学校夜学開講
昭和 2 2 年	5 月 1 日	学制改革に基づいて一燈園中学校が設置認可
昭和 2 4 年	4 月	燈影学園に夜間制の高等部を置く
昭和 2 6 年	3 月 8 日	学校法人令による「学校法人燈影学園」認可
昭和 2 7 年	3 月 3 1 日	一燈園高等学校（定時制課程）が設立認可
昭和 3 0 年	4 月	大学林（高等学校専攻科）設置
昭和 3 0 年	6 月	六万行願歌「あめつちの」燈影学園歌「このくらし」作曲
昭和 3 4 年	1 1 月	伊勢湾台風被災地に高校生托鉢出動
昭和 3 8 年	8 月	燈影学園 3 0 年記念式及び学校行願奉仕
昭和 4 2 年	2 月 1 日	いずみ幼稚園設立認可
昭和 4 3 年	2 月 2 9 日	天香さん御帰光。「福の日」となる

昭和43年	3月	「一燈園天香さん」本葬。西田武氏学園理事長就任
昭和43年	8月	学園プール完成竣工式
昭和46年	4月	一燈園高等学校夜間定時制より、昼間定時制に切り替え
昭和47年	10月	笹原仁太郎校長、学制発布満百年記念の教育功労者として表彰
昭和48年	10月	天香さん生誕百年記念事業として、学園新校舎落成式
昭和51年	5月	いずみ幼稚園創立10周年記念式典
昭和53年	2月	一燈園高等学校ユネスコクラブ国際理解教育活動奨励賞受賞
昭和54年	3月	木村淳蔵氏、いずみ幼稚園長退任
昭和54年	4月	笹原仁太郎氏、学校長退任。村田正喜氏、学校長に就任
昭和55年	4月	大河内亮璋氏、いずみ幼稚園園長に就任
昭和58年	3月	大河内亮璋氏、いずみ幼稚園園長退任。稲川満秋氏、園長に就任
昭和58年	5月	一燈園大学林主催の市民講座「わびあい講座」始まる
昭和58年	8月28日	学園50周年記念の集い 記念誌「学園50年の歩み」発行
昭和62年	4月	ホームガーデン（幼稚園預かり保育）開始
平成元年	4月	一燈園小学校 門戸開放（光友子弟受け入れ開始）
平成元年	4月	一燈園高等学校4年制から3年制へ制度改正
平成2年	4月	村田正喜氏、学校長退任。相大二郎氏、学校長就任
平成5年	4月	稲川満秋氏、いずみ幼稚園園長退任。小山宏氏、園長に就任。
平成5年	7月	北海道南西沖地震 高校・大学林有志 奥尻島へ災害救援活動
平成5年	10月	小山宏氏、いずみ幼稚園園長退任。佐川佳子氏、園長に就任。
平成6年	4月	一燈園小学校全クラス単式化
平成6年	4月	一燈園大学林募集停止
平成6年	10月	高校生・大学林生の奥尻島でのボランティア活動に対して国際ソロ プチミスト財団より「青少年ボランティア賞」受賞
平成7年	1月	グラウンド（第2運動場）造成
平成7年	3月	阪神大震災 被災児童の短期間通学受け入れ
平成7年	3月	高校生 阪神大震災災害救援活動
平成7年	4月	佐川佳子氏、いずみ幼稚園園長退任。川上修氏、園長就任。
平成7年	6月	一燈園中学校 水質検査により環境庁より「水環境賞」受賞
平成8年	4月	体育館 完成披露
平成9年	3月	一燈園旧研修道場を「北校舎」として借用
平成11年	4月	川上修氏、いずみ幼稚園園長退任。南澤貞美氏、園長就任
平成13年	4月	いずみ幼稚園延長保育（くるみ組）開始
平成14年	6月	一燈園中学校3年 長島愛生園へ研修旅行（以降毎年）
平成16年	4月	一燈園生活創始100周年記念式典
平成16年	5月	一燈園小・中・高等学校保護者会「燈会」第1回総会
平成16年	9月	イギリスのボランティア団体「プロジェクト・トラスト」よりギャ ップ・イヤー・ステューデント2名を受け入れ（以降毎年）
平成16年	10月	高校生 平成16年台風23号による水害被災地災害救援活動
平成16年	11月	相学園長 京都府知事より「教育功労賞」受賞

平成１７年	４月	南澤貞美氏、いずみ幼稚園園長退任。西田徳子氏、園長に就任
平成１７年	９月	ニュージーランド・オークランドグラマースクール来校 ２泊３日の生活交流。
平成１９年	４月	いずみ幼稚園 未就園児保育（りんご組）開始
平成１９年	８月	一燈園中学校・高等学校夏期学校「大愚塾・夏安居」開催
平成２０年	４月	小・中・高教員組織改編
平成２０年	４月	国際研修センター 改修工事完了
平成２０年	５月	本校舎増改築完了
平成２０年	６月	相学園長 京都私学振興会より「特別賞」受賞
平成２０年	１０月	「燈影学園創立７５周年記念式典」 「燈影学園創立７５周年史」発刊
令和２１年	１月	ニュージーランド・オークランドグラマースクールへ短期交換留学 として高校生１名を派遣
令和２１年	５月	ニュージーランド・オークランドグラマースクールから短期交換留 学として高校生１名を受入れ
平成２１年	６月	一燈園中学校・高等学校『能・謡曲』京都私学振興会より「振興会 賞Ⅰ」受賞
平成２１年	６月	一燈園高等学校宮崎研修旅行（以降３年に１回実施）
平成２２年	３月	プール耐震改修工事完了
平成２２年	６月	一燈園小学校『珠算』京都私学振興会より「振興会賞Ⅰ」受賞
平成２２年	１２月	文部科学省より「教育課程特例校」として指定
平成２３年	４月	東日本大震災被災児童一時受け入れ
平成２３年	８月	高校生有志 東日本大震災被災地行願
平成２４年	４月	パリ・ユネスコ本部よりユネスコスクール認定
平成２４年	１１月	相学園長「教育者・文部科学大臣表彰」受賞
平成２４年	１２月	日本ボランティア協会より「アレック・ディクソン賞」受賞
平成２５年	４月	西田徳子氏、幼稚園園長退任。佐久間友子氏、園長に就任
平成２５年	９月１７日	平成２５年台風１９号による土砂災害により休校
平成２６年	５月	一燈園高等学校 高等学校体育連盟に加盟
平成２６年	６月	一燈園小・中・高等学校『洋舞・リトミック』京都私学振興会より 「振興会賞Ⅰ」受賞
平成２６年	１０月２４日	一燈園高等学校全日制課程設置認可
平成２６年	１１月	北校舎（旧一燈園研修道場）修繕完工
平成２７年	３月	いずみ幼稚園 北園舎耐震改築工事完工
平成２８年	１月１３日	一燈園高等学校定時制課程廃止認可
平成２８年	５月 ２日	いずみ幼稚園 創立５０周年のお祝いの会
平成２８年	５月	高校生有志 熊本地震被災地災害救援活動
平成２８年	６月	一燈園小・中学校『日本舞踊』京都私学振興会より「振興会賞Ⅰ」 受賞
平成２８年	８月	一燈園中学校少林寺拳法クラブ、「全国中学生少林寺拳法大会」男 子団体演武の部で優勝

		「京都府スポーツ賞」「山科未来賞」「京都新聞ジュニアスポーツ賞」受賞
平成29年	4月	事業所内保育施設「燈影ホームガーデン」開設
平成29年	6月	一燈園中学校少林寺拳法クラブ、京都私学振興会より「文化スポーツ活動賞Ⅰ」受賞
		安田壮翔（一燈園中学校3年）、尺八演奏に対して京都私学振興会より「文化スポーツ活動賞Ⅱ」受賞
平成29年	8月	一燈園中学校少林寺拳法クラブ「少林寺拳法世界大会（アメリカ・カリフォルニア州）」出場
		一燈園高等学校少林寺拳法クラブ「全国高等学校総合体育大会（南東北大会）」に初出場
平成30年	10月	一燈園高等学校少林寺拳法クラブ「少林寺拳法全国大会」高校生団体の部で優勝
令和	元年 6月	一燈園高等学校少林寺拳法クラブ、京都私学振興会より「文化スポーツ活動賞Ⅰ」受賞
令和	2年 3月	新型コロナウイルス感染症対策により、休校（5月まで）
令和	2年 4月	佐久間友子氏、幼稚園園長退任。池田慶子氏、園長に就任
		相大二郎氏、学校長退任。村田俊喜氏、学校長就任
令和	2年 6月	一燈園小学校『和太鼓』京都私学振興会より「振興会賞Ⅰ」受賞
令和	2年 10月	一燈園小学校・一燈園中学校 新型コロナウイルス感染症の影響により例年の広島（原爆祈念館）・愛生園に代わり、舞鶴引揚げ記念館を中心とした平和学習旅行・人権学習旅行を実施
令和	3年 4月	いずみ幼稚園 満3歳児保育開始
		燈影ホームガーデン園舎移転
令和	3年 10月	西田武理事長 京都府知事より「教育功労賞」受賞
令和	4年 6月	一燈園小学校『剣道』京都私学振興会より「振興会賞Ⅰ」受賞
令和	5年 3月	一燈園高等学校少林寺拳法クラブ「高等学校少林寺拳法全国選抜大会」組演武の部で優勝
令和	6年 4月	いずみ幼稚園 新制度（給付型幼稚園）に移行
		燈影ホームガーデン 体調不良児保育・一時預かり保育開始
令和	6年 7月20日	名誉学園長相大二郎氏お別れの会
令和	7年 4月	いずみ幼稚園、いつでも通園制度開始
令和	7年 5月	一燈園高等学校沖縄研修旅行
令和	7年 7月	西田武氏、理事長退任、名誉理事長就任。村田俊喜氏、理事長就任

Ⅱ 令和 7 年度事業のあらまし

(1) 学校法人としての流れ

令和 7 年 4 月私立学校法改正をうけて改正した寄附行為により、6 月に理事・評議員・監事の選任を行った。かねてより高齢のため退任の意向を示されていた西田武理事長は理事からも退くこととなった。また、私学法の改正により理事会と評議員会の開催順序が変わり、理事会において評議員会の招集を承認した後で、評議員に開催招集を掛ける手順となったほか、今回選任した役員の任期は令和 11 年 6 月に開催される評議員会が終結した時までとなっている。

7 月に新役員を招集した理事会では、新理事長として村田俊喜氏を選任し、退任された西田武氏には名誉理事長として、学園を見守って頂くこととなった。

また、これまで本学園の役員は一燈園同人を中心とした構成となっていたが、一燈園同人の高齢化もあり、一燈園や学園とのご縁のある外部の方にも多くご就任頂いたため、役員報酬についても理事会で検討をした。

理事長交代をうけて、法務局の登記や銀行口座の名義変更などの手続を 12 月までに行った。

1 月と 3 月に招集した理事会・評議員会では、令和 8 年 12 月施行の「こども性暴力防止法」に対して、学校法人として検討しておくべき教職員の採用要件や解雇要件などについて審議を行い、3 月理事会で就業規則変更を承認した。

このほか、令和 9 年度以降の一燈園小学校・一燈園中学校・一燈園高等学校の児童生徒納付金について検討を行った。近年の最低賃金の上昇や企業における大卒新規採用者の初任給の上昇などにより、本学園も教職員の俸給の見直しを検討しなければならない状況であるが、物価高騰もあり、経費は増加傾向にある一方、寄付金が減少している中では、安定的な収入を確保するために、納付金の改定を行う方向で検討を進めることとなった。

(2) 一燈園高等学校

「作務」では、一燈園の受け入れ態勢が整わず、学園山林、ホームガーデン、いずみ幼稚園のみとなっている。学園山林では、特に一燈園敷地内の清掃・整備を中心に行った。

学習指導においては、1 年次の数学・英語を習熟度により 2 クラスに分け、個々の学力の向上を図った。又 2 学年以降は進路に応じて文理クラスに分け、きめ細かい学習指導を行った。

また、放課後学習、夏期講習・冬期講習も習熟度に応じて実施した。

進路指導においては、ロングホームルームの時間を活用し、外部の講師を招いた講演会を数回実施した。また、有志で行っているインターンシップ実習では、ボトルカー製造のトップメーカー株式会社須川車体での実習に 3 名の生徒が参加した。3 年生の進路としては、1 名が大学、1 名が未定となった。

また、3 年に 1 度の研修旅行では沖縄県を訪問、戦時下の沖縄を通して平和の尊さ

を学んだ。

小・中・高等学校合同の運動会は高校生が主体となって工夫を凝らして行うことができた。

部活動においては、少林寺拳法部が全国高等学校総合体育大会に3名が出場、全国高等学校選抜大会においては男子単独演武の部で3位の成績を収めた。バドミントン部は全国高等学校体育大会京都府予選に1名が出場した。

(3)一燈園中学校

基礎学力の習得に重点を置き、一人ひとりの知識・技能の定着を図るとともに、定着が充分でない生徒については、放課後の個別指導で対応した。

授業に能、日本舞踊、洋舞などを取り入れてその道の専門家に指導を仰ぎ、所作振る舞いを含め、形を守ることの大切さ、そこに込められた美しさを学んだ。また、奉仕活動の一環として「作務」を授業に取り入れており、清掃や草抜き、山林の樹木伐採の手伝い、季節に伴う筍掘りや梅ちぎり等の作業を行った。

11月末の霜月接心では、朝課前に正座・瞑想する時間を取り、同時に行った疎水の橋での「あいさつ運動」「街頭清掃活動」「四天王寺行願」を行い、自分を見つめ直す時間を過ごすことができた。

小・中・高等学校と合同の運動会では高校生とともに競技の企画・運営を行った。

毎年6月に実施している「人権学習旅行」2泊3日でハンセン病療養所長島愛生園を訪問し、ハンセン病の歴史を通して人権について学んだ。

部活動では、少林寺拳法部、バドミントン部、音楽クラブ、美術クラブのいずれかに過半数が所属し活動した。

少林寺拳法部は全国中学生大会では男子団体演武の部で6位の成績を収めた。バドミントン部は各種大会に出場し1名が京都市選手権総合大会において予選通過、全市大会へ出場した。

(4)一燈園小学校

児童の学力向上、基礎・基本の定着を図った。

各クラスで放課後の時間を活用して補習授業を行った。

運動会、秋・春の学習発表会では、年齢を超えて力を合わせ目標に向かって取り組んだ。

「天香さん学習の時間」では、1・2年は映像教材、3・4年は「路頭」体験、5・6年は言葉の意味を考えた。天香さん学習と道德の連携を図り、系統立てた指導を行った。

「平和学習」は6月に例年通り広島平和祈念館を中心とした平和学習を行った。

放課後や夏休みの学童保育を行い、子ども達の健やかな成長のために力を尽くした。また、希望者のみではあるが珠算塾の分教場やリトミック教室、剣道教室などと連携し、学童保育の充実を図った。

(5) いずみ幼稚園

令和6年度はコロナ禍の以前に戻り全ての生活、行事等、制限なしで実施した。

2歳児は早々と20人定員に満たして年度途中の入園希望者をお断りする状態となった。大津市が保育園の待機児童が多いことと当園の2歳児クラスが少しずつ認知されてきていることが大きな要因になっているように思う。

今年度は「とことん遊びきる」というテーマで、モノ、コト、ヒトを関わりながら子どもと共に育ちあう保育を目指した。

特別支援対象者が年々増加し、それに伴う支援保育の在り方や保護者の理解を得ること等、難しい対応を臨床心理士の先生の指導のもと学びを深める。これについては来年度も研鑽を積んでいきたい。

(6) 燈影ホームガーデン

新たに、一時預かり保育、体調不良児保育をスタートさせた。

体調不良児保育は、登園後に体調を崩す児童を、保護者のお迎えまで預かることを前提として、看護師を採用した。

一時預かり保育は、臨時的な保育のための制度であるが、本園の定期保育が定員充足のため、認可園に入園できなかった児童などが、ほぼ定期で利用している状態であった。

連携推進員を採用したことで、保育士が本来の保育業務に専念できる環境を構築した。

その他児童育成協会等からの監査による指摘事項への対応も含めて、保育内容の充実を図った。

毎日の保育や1年間の保育の流れもでき、子ども達が心身健やかに成長できる環境が整ってきた。

Ⅲ 学校法人の概要

(1) 設置する学校の概要

令和8年3月31日現在、設置する学校は次の通りである。

一燈園高等学校 全日制課程 普通科

定 員 75名（3学年 各学年1クラス）

生徒数 18名（男子 12名、女子 6名）

一燈園中学校

定 員 60名（3学年 各学年1クラス）

生徒数 28名（男子 19名、女子 9名）

一燈園小学校

定 員 120名（6学年 各学年1クラス）

児童数 62名（男子 34名、女子 28名）

いずみ幼稚園

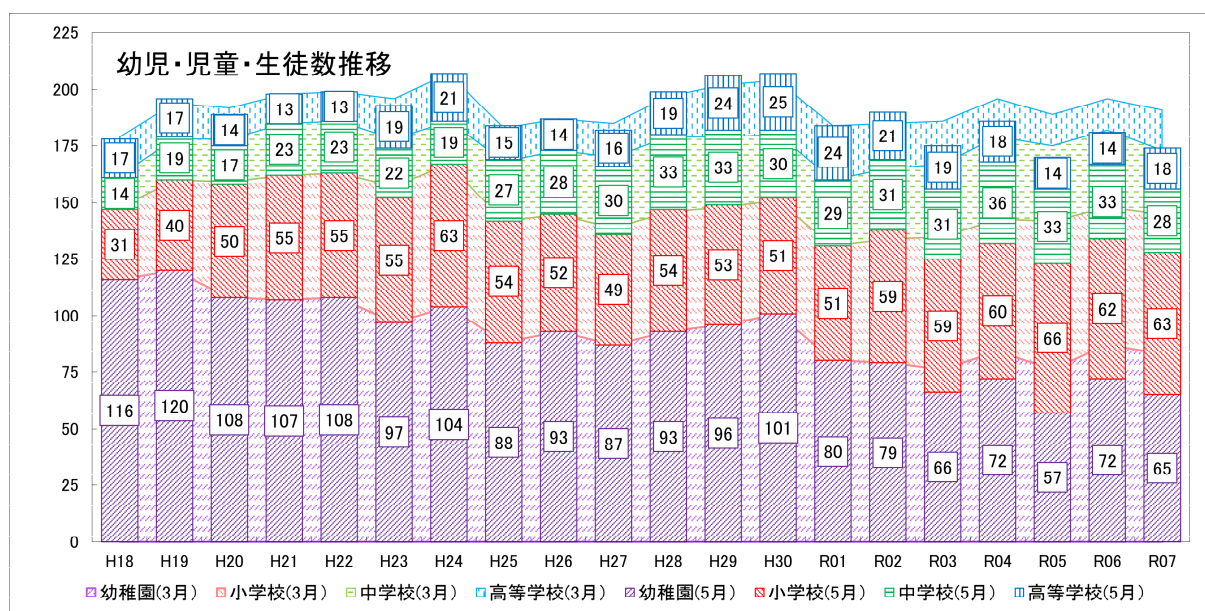
定 員 240名（7クラス）

園児数 83名（男子 48名、女子 35名）

燈影ホームガーデン

定 員 9名（0歳～2歳）

園児数 7名（男子 4名、女子 3名）



積み上げ棒グラフ… 5月1日現在 幼児児童生徒数（数字は5月1日現在幼児児童生徒数）

積み上げ板グラフ… 3月31日現在 幼児児童生徒数

(2) 役員の概要

令和8年3月31日現在の理事・監事・評議員は次のとおりである。

理事 7名（定員7名）

氏 名	選任区分		
村 田 俊 喜	第8条1項1号	一燈園高等学校の校長	1名
谷 野 寅 藏	第8条1項2号	一般財団法人蠟梅奉仕光泉林役員の中から財団評議員会が選任	1名
山 本 伸 夫	第8条1項3号	一燈園生活にも度付いた燈影学園の教育に理解のある者として、評議員会が選任した者	2名
西 田 順			
谷 野 了	第8条1項4号	この法人に係る学識経験者として理事会が選任	3名
寺 口 浩			
藤 田 耕 作			

監事 2名（定員2名）

氏 名	選任区分		
徳 本 達 之	第23条1項		2名
松 澤 洋 子			

評議員 9名（定員9名）

氏 名	選任区分		
池 田 慶 子	第32条1項1号	いずみ幼稚園の園長	1名
増 田 さやか	第32条1項2号	一燈園中学校の教頭	1名
西 田 久美子	第32条1項3号	一燈園小学校の教頭	1名
水 野 友 晴	第32条1項4号	一般財団法人蠟梅奉仕光泉林の役員から財団評議員会が選任	1名
荒 木 幹 太	第32条1項5号	25歳以上のこの法人が設置する学校・幼稚園の卒業生	2名
西 川 敬 一			
前 川 和 彦	第32条1項6号	この法人に係る学識経験者	3名
服 部 研 造			
川 嶋 峰 子			

(3) 教職員の概要

令和8年3月31日現在の各学校の教職員の配置状況は次のとおりである。

		高等学校	中学校	小学校	幼稚園	ホームガーデン	計	
教育職員・保	校長(園長)		1		1		2	
	教頭(副園長)		1	1	1		3	
	教 育 職 員 ・ 保 護	国語	1	5	5	1	17	
		社会	地理歴史					1
			公民					
		数学	1					
		理科						
		外国語(英語)	3					
		保健体育	1					

育 士		養護教諭	1					1
	常勤・短時間	数 学			1	4	8	1 4【 1 】
		理 科						
		外国語(英語)						
		美 術						
		養 護	1 【 1 】					
	非常勤教員			1	4	6	1 1	
職 員		事務長						
		事務職員	4			1	1	6
		その他の職員	2			1	1	4
		非常勤職員	3			5	2	1 0
非 常 勤 講 師	一 般 教 科	国 語						6 【 4 】
		社 会	0 【 1 】					
		数 学	1	1				
		理 科	1 【 2 】					
		音 楽	1		1			
		家 庭	1					
		技術・情報	0 【 1 】					
		英 語						
	特 別 教 科	謡曲・能	1 (2)					5 (3)
		日本舞踊		1 (1)				
		リトミック	1					
		珠 算			1			
		剣 道		1				

() 内には助手等の人数を計上している

【 】内には派遣の人数を計上している

IV 理事会開催の記録

令和7年度理事会は下記の通り開催された。

令和7年度第1回理事会

開催日時 令和7年6月30日（月）午前10時～午前11時30分

理事

本人出席 西田 武・村田俊喜・西田 順・山本伸夫・池田慶子

書面出席 山田剛志

欠 席 谷野 了

監事

本人出席 松澤洋子

欠 席 中川好江

議 案

(1) 令和6年度決算について

(2) 令和6年度事業報告について

(3) 理事・評議員の選任について

令和7年度第2回理事会

開催日時 令和7年7月1日（火）午後1時～午後1時30分

理事

本人出席 村田俊喜・谷野寅蔵・西田順・山本伸夫・寺口浩・藤田耕作

WEB出席 谷野 了（オンライン）

監事

本人出席 徳本達之・松澤洋子

議 案

(1) 理事長の互選について

(2) 令和7年度第1次補正予算について

(3) 役員報酬規程について

(4) 評議員会招集について

(5) その他

① 創立100周年記念事業について

② 令和9年度以降の児童生徒納付金について

令和7年度第3回理事会

開催日時 令和8年1月16日（金）午前1時30分～午後2時30分

理事

本人出席 村田俊喜・谷野寅蔵・西田順・寺口浩・藤田耕作

書面出席 谷野了・山本伸夫

監事

本人出席 徳本達之・松澤洋子

議 案

(1) 令和7年度第2次補正予算について

- (2)就業規則変更について
- (3)令和9年度以降自動詞と納付金について
- (4)理事会開催日の固定化について
- (5)評議員会招集について
- (6)一燈園高等学校補習・補講に係る納付金・講師料について
- (7)その他

令和7年度第4回理事会

開催日時 令和8年3月16日(月)午前10時30分～午後4時

理事

本人出席 村田俊喜・谷野寅蔵・西田 順・山本伸夫・寺口 浩・谷野 了
藤田耕作

監事

本人出席 松澤洋子

欠席 徳本達之

議 案

- (1)令和7年度第3次補正予算について
- (2)令和8年度事業計画について
- (3)令和8年度収支予算案について
- (4)就業規則変更について
- (5)令和9年度以降の児童生徒納付金について
- (6)評議員会招集について
- (7)その他

令和7年度 燈影学園の各学校・園が目指す姿

(1) 共通事項

①建学の精神・教育理念に関する事項

- 『行餘學文』の校是のもとに、人間としての生き方を探求します。
- 「懺悔」、「下坐」、「奉仕」の精神を中心とした、一燈園生活の精神を学びます。

②教育目的・教育方針に関する事項

- 世界平和に貢献しうる人材の育成を目指します。
- 「祈り」「学習」「汗」の3本柱を中心とした人間教育を目指します。
 - ◇祈り…大自然への感謝、自分自身への内省を中心とした、宗派教派ではない普遍的な宗教心を養います。
 - ◇学習…国語、数学、英語などの教科科目はもちろん、日本の伝統文化や異文化理解について理解を深め、国際社会に通用する教養を身につけます。
 - ◇汗…他者のために汗を流すことを体験し、実践する力を養います。

③教育活動に関する事項

- 教育職員の校内・校外研修を充実させ、教育職員の質を向上させます。
- 習熟度に応じて全ての児童生徒が授業の内容を理解し、興味を抱ける授業を目指します。
- 実習科目、実技科目の充実をはかり、児童生徒の意欲を高めます。
- 奨学金制度の充実を図ります。
 - 経済的な事情のある家庭に対して授業料の減免を実施します。
 - 兄弟姉妹が在籍する家庭に対して授業料の減免を実施します。
- 課外活動
 - 社会福祉活動（ボランティア活動）を充実させます。
 - 他校との交流を図ります。

④学校の将来についての中期的展望

- 児童生徒数を各学年15名を目指して募集活動を行います。
- 天香学習の確立に向けて、年齢に応じた学習方法を検討します。

(2) 一燈園高等学校

①一燈園高等学校が目指す生徒の姿

- 大自然によって活かされていることに感謝します。
- 生きていることの意味を見つめます。
- なすべきことを理解し、自ら行動します。

②教育課程

- 国語、数学、英語の3教科に重点を置き、習熟度に応じた学習を実施します。

○外国人との交流を通しての異文化理解、謡曲を通して日本の伝統文化理解を充実させ、真の国際人の育成を図ります。

③作務

○他者のために奉仕をする活動を通して、自ら汗をかくことの尊さや、互いを尊重して協力することの大切さに気づきます。

④生活指導

○寮生活の中で協調性や規律性を高めます。

○履き物をそろえることや、椅子をしまうこと、その他清掃活動を通して、後始末をすることの大切さに気づきます。

⑤進路指導

○大学進学を目指す生徒に対する進学指導を充実させます。

○進学しない生徒に対しては、就職支援を充実させます。

（３）一燈園中学校

①一燈園中学校を目指す生徒の姿

○毎日の食材にも生命があることを理解し、全ての生命に感謝します。

○自分が一人で生きているのではないことを理解します。

○他者のために自分ができることを考え、行動します。

②教育課程

○国語、数学、英語の３教科に重点を置き、基礎の徹底を図ります。

○実技教科・体験学習を充実させます。

○謡曲、日本舞踊、剣道など日本の伝統文化を学び、日本人としての意識を高めます。

○ネイティブによる英会話など外国人との交流の中で、異文化理解教育を推進します。

③作務

○他者のために奉仕をする活動を通して、自ら汗をかくことの尊さや、互いを尊重して協力することの大切さに気づきます。

④生活指導

○履き物をそろえることや、椅子をしまうこと、その他清掃活動を通して、後始末をすることの大切さに気づきます。

⑤進路指導

○一燈園高等学校への進学率を高めます。

○外部受検を目指す生徒にはそれぞれの能力に応じた進路指導を行います。

（４）一燈園小学校

①一燈園小学校を目指す児童の姿

高学年

- 自分が生まれてきたことの不思議さの中から大自然を敬う心を育てます。
- 今日まで育ててくれた両親や家族をはじめ、自分を取り巻く全てに感謝する心を育てます。
- 指示がなくても、家族や先生の手伝いや友達の手助けを率先して行います。

低学年

- 四季の移り変わりの中で、大自然の偉大さを感じる心を育てます。
- 「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える心を育てます。
- 家族や先生に手伝いを頼まれたら「はい」と言って行動します。

②教育課程

- 国語、算数に重点を置き、基礎の徹底を図ります。
- 図画工作、家庭科、体育などの実技教科の充実をはかり、達成感を大切にします。
- 日本舞踊、珠算、剣道など日本の伝統文化学習を充実させます。
- ネイティブによる英会話など外国人との交流の中で、異文化理解教育を推進します。

(5) いずみ幼稚園

①いずみ幼稚園がめざす保育

- 各自の課題を見据え、一人ひとりの子どもたちの健やかな育ちとは何かを考え、育ちの理解のための研修会や園内研修を実施し、保育を振り返り、見直すことにより保育の質の向上を目指します。
- 発達に問題がある専門的な支援が必要な子どもの増加に伴う、特別支援の研修や臨床心理士からの指導を受け、個々の支援の在り方や保護者対応を学び、実践していきます。

V 令和7年度事業実績報告

令和7年度事業は下記の通り実施された。

(1) 寄附金の募集

① 経常的経費に充てる寄付金

一燈園小学校、中学校、高等学校の教育研究に要する経常的経費に充てるために、下記のとおり寄附金を募集した。

i 日本私立学校振興・共済事業団が実施する受配者指定寄付金

募集期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日

寄付金額 13,250,000円

寄付者数 法人 6社

ii 特定公益増進法人への寄附金

募集期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日

寄付金額 2,255,536円

寄付者数 個人 85名

(2) 創立100周年記念事業計画

令和15年度に燈影学園創立100年を迎えるにあたって、記念事業の検討を始める。

(3) 施設・設備関係

① いずみ幼稚園門扉改修

幼稚園門扉のオートロック化工事を実施した

② いずみ幼稚園通園バス入れ替え

幼稚園通園バスを入れ替えた

(4) 感染症対策等健康管理の徹底

新型コロナウイルス感染症は感染症法5類に引き下げられたが、ひきつづき幼児児童生徒及び職員の健康管理は継続して行う。

① 毎朝の検温

② 手洗い・手指消毒徹底、室内換気の徹底

③ 体調不良時は登校（園）せず、医療機関で受診するよう指導を徹底する

(5) 一貫教育への取組

① 学習指導要領改訂に伴う教育課程の見直しと、一貫教育計画の策定

② ホームガーデンといずみ幼稚園の連携に向けた検討

0歳児から5歳児まで継続した保育の構築に向けた検討

(6) 基礎学力の徹底

①国語力向上

- i 書く力に重点を置いた作文指導を実施した。
- ii 音読大会は実施しなかった。
- iii たくはつ学校の発行
児童生徒の作文をまとめ2月に文集として発行した。
- iv 京都新聞掲載
小学校児童の作文を京都新聞に送付した

②漢字能力向上

漢字文化の奥深さ、楽しさを学ぶことを重点に置いて漢字学習を実施した。
漢字検定では、各学年に基準級を設定し、意欲を喚起するとともに未達の生徒への指導を行った。

漢字能力検定	対象学年	中学校1年～高校3年			
	実施日	(第1回)	6月13日		
		(第2回)	11月7日		
		(第3回)	2月6日		
合格者	準2級	4名	3級	9名	
	4級	6名	5級	10名	
	6級	1名	7級	2名	

③外国語能力向上

コミュニケーションツールとしての外国語（英語）能力向上を目指した外国語学習を実施した。
英語検定では、各学年に基準級を設定し、意欲を喚起するとともに未達の生徒への指導を行った。

英語検定	対象学年	中学校1年～高校3年			
	実施日	(第1回) 1次	5月23日		
		2次	7月6日		
		(第2回) 1次	9月26日		
		2次	11月9日		
		(第3回) 1次	1月23日		
		2次	3月1日		
合格者	準2級	4名	3級	4名	
	4級	14名	5級	7名	

④繰り返し指導

かがやきタイム	実施期間	通年	午後 3 時 3 0 分～午後 4 時
	対象学年	小学校 1 年～小学校 6 年	
	内 容	その日の授業内容の繰り返し指導や宿題など、全ての児童が授業内容を理解できるように、指導を行った。	
繰り返し指導	実施期間	通年	放課後
	対象学年	中学校 1 年～高校 3 年	

	内 容	その日の授業内容の繰り返し指導や、苦手教科の抜き出し指導を行い、基礎学力の徹底を図った。
⑤習熟度別指導		
	対象学年	小学校
	内 容	児童の能力により、学年の進度で授業を進めることが難しい教科について、取り出し授業を行った。
	対象学年	高校 1 年～高等学校 3 年
	対象教科	数学・英語
	内 容	学年を基礎学力の徹底を重視するクラスと、進学を目指すクラスの 2 クラスに再編し、各生徒の能力に応じた学習を行った。
夏期・冬期補習	実施期間	夏期、冬期の休業期間
	対象学年	中学校 1 年～高校 3 年
	内 容	各学年の学習目標及び漢字検定・英語検定の基準級に達していない生徒に対して、学習目標や基準級に到達するまで補習を行った。
放課後学習	対象学年	高等学校 1 年～高校 3 年
	内 容	大学進学を目指す生徒の個別指導を行った。
	実施期間	通年（火・水・金）
	対象学年	高校 1 年～高校 3 年
	内 容	英語検定の取得級により 3 クラスに編成し、英検対策や模試対策を実施した。 英語検定 2 級を取得した生徒は漢字検定学習を行った。

(7) 特色ある教育の推進

①一燈園学習

朝課（瞑想）	実施期間	通年
	内 容	午前 8 時 20 分～8 時 35 分 礼堂に正座し、瞑想を行う
給 食	実施期間	通年 午後 12 時 30 分～午後 12 時 50 分
	実施学年	小学校 1 年～高校 3 年
	内 容	小学校と中学・高等学校が日をずらして総寮と各教室に別れるが、週 1 回は全員が総寮に正座し、般若心経・三匙之偈を唱え、正しい食作法の下に黙って頂く。
作務（勤労体験）	実施時間	通年 金曜日 3 時限目～6 時限目
	実施学年	高校 1 年～高校 3 年
	受 入 先	燈影学園（ホームガーデン・いずみ幼稚園を含む）

作 務	内 容	校内、学校周辺の清掃、幼児児童の保育補助を行う他、学園内の種々の作業を行う。
	実 施 日	通年 火曜日 5 時限・6 時限
	実施学年	中学校 1 年～中学校 3 年
一燈園春の集い	内 容	グラウンド草抜き、校舎周辺清掃、等
	実 施 日	4 月 1 9 日
	参加学年	中学校 1 年～高等学校 3 年
霜月接心	内 容	創立者西田天香の誕生を記念して開催される一燈園の講演会に参加した
	実 施 日	1 1 月 2 5 日～1 1 月 2 9 日
	参加学年	小学校 1 年～高等学校 3 年
(挨拶運動)	内 容	礼堂作法、食作法、照顧脚下など、毎日の生活をつつめなおす。
	参加学年	中学校 1 年～中学校 3 年
	内 容	霜月接心期間中の朝 7 時 3 0 分から 5 5 分まで、四宮駅前、柳山橋、八角亭前での朝の挨拶声かけと通学路のゴミ拾いを行う。
霜月行願	実 施 日	1 1 月 2 9 日
	参加学年	中学校 1 年～高校 3 年
	行 先	大阪市（四天王寺・大念仏寺）
奉仕活動	内 容	四天王寺、大念仏寺の境内を清掃を行った。
	実 施 日	1 1 月 2 9 日
	参加学年	小学校 1 年～小学校 6 年
〆縄漣作	行 先	京都市山科区（疏水周辺）
	実施期間	1 2 月 1 日～1 2 月 2 1 日
	参加学年	中学校 1 年～高等学校 3 年
年頭行願	内 容	お正月の注連飾り作成し、近隣の社寺へ届ける
	（事前学習）	実 施 日 1 2 月 1 8 日
	参加学年	高校 2 年
（体験学習）	内 容	行願についての心がまえや長浜の地理・歴史について
	実施期間	1 月 8 日・9 日
	参加学年	高校 2 年
天香さん学習	内 容	天香さんの生家の清掃、長浜市内の企業の清掃
	行 先	滋賀県長浜市
	（事前学習）	実 施 日 1 月 1 9 日～2 月 2 8 日
	参加学年	小学校 1 年～小学校 2 年
	内 容	「天国・地獄」を鑑賞して、作文にまとめる。

(発表会)	参加学年	小学校 3 年～小学校 4 年
	内 容	路頭を体験して、作文にまとめる。
	参加学年	小学校 5 年～小学校 6 年
	内 容	香倉院を見学して、文章にまとめる。
(発表会)	実施期間	3 月 1 3 日
	参加学年	小学校 1 年～小学校 6 年
	内 容	事前学習でまとめたことを、発表する。

②平和学習・人権学習

平和学習

(事前学習)	実 施 日	通年
	参加学年	小学校 6 年
(学習旅行)	内 容	社会や道德の時間を通して平和について学ぶ
	実施期間	6 月 1 1 日～6 月 1 2 日
	実施学年	小学校 6 年
	行 先	広島県（広島市・廿日市市）
(研究発表)	内 容	原爆ドームや原爆記念館をボランティアガイドの案内で見学した。翌日は厳島神社を見学し、もみじ饅頭づくりを体験した。
	実 施 日	3 月 1 0 日
	内 容	1 年間の平和学習のまとめをパワーポイントを使って発表した。

人権学習

(事前学習)	実施期間	4 月～5 月にかけて 7 回
	実施学年	中学校 3 年
	内 容	ハンセン病に関する教室学習
(学習旅行)	実施期間	6 月 1 1 日～6 月 1 3 日
	実施学年	中学校 3 年
	行 先	岡山県（備前市）
	内 容	ハンセン病療養所長島愛生園歴史館の見学をして学芸員の方からお話を伺い、ハンセン病の歴史について学んだ。
(研究発表)	実 施 日	8 月 6 日
	内 容	ハンセン病についてのまとめをパワーポイントを使って発表した

沖縄平和学習

(事前学習)	実施期間	4 月～5 月にかけて 7 回
	実施学年	高等学校 1 年～3 年
	内 容	沖縄戦、沖縄の歴史と文化、一燈園と沖縄について学習した
(学習旅行)	実施期間	5 月 8 日～5 月 1 0 日

	実施学年	高等学校 1 年～ 3 年
	行 先	沖縄県
	内 容	平和祈念公園、ひめゆりの塔、ターダーガザ等の 見学を通して、平和の尊さを学んだ。
(研究発表)	実 施 日	8 月 6 日、1 1 月 2 2 日
	内 容	沖縄の歴史と現状について、現地で学んだことを パワーポイントを使って発表した
花まつり	実 施 日	5 月 8 日
	参加学年	幼稚園 2 歳児～幼稚園年長組
(自然の集い花)	実 施 日	4 月 1 8 日
	参加学年	小学校 1 年～小学校 6 年
	内 容	花みこしを作り、誕生仏に甘茶をかける。お釈迦 様の生涯と教えを通して慈悲について学ぶ
おおやけの里訪問	実 施 日	6 月 1 8 日
	参加学年	小学校 1 年～小学校 2 年
	内 容	歌を歌ったり、お年寄りと交流した
敬老参観	実 施 日	9 月 1 2 日
	参加学年	小学校 1 年～小学校 6 年
	内 容	敬老発表会として、児童の祖父母を招待して、音 読や歌の発表と、プレゼントを贈った。
	参加学年	中学校 1 年～中学校 3 年
	内 容	生徒の祖父母にメッセージはがきを送った。
殺生塚供養	実 施 日	9 月 2 2 日
	参加学年	幼稚園 2 歳児～幼稚園年長組
	内 容	飼育していた動物の供養をし、生と死に触れる。
街頭募金活動		
(事前学習)	実 施 日	1 1 月 2 1 日
	実施学年	小学校 1 年～小学校 6 年
	内 容	6 年生が医療従事者の方、とハンドインハンド校 について調べ、募金の目的について 1 年生から 5 年生までに説明をした
(募金活動)	実 施 日	1 2 月 3 日
	実施学年	小学校 1 年～小学校 6 年
	行 先	山科駅前
	内 容	医療関係者支援とイスラエルにあるユダヤとアラ ブの子どもたちのためのハンドインハンド校支 援、能登半島地震・豪雨被災者に役立てるため、 街頭募金を実施した。
	募金額	医療関係者支援（洛和会音羽病院）

1 5, 0 0 0 円

ハンドインハンド校 15,390円

能登半島支援 23,000円

障害者スポーツ交流会

実施日 7月15日
参加学年 中学校1年～高校3年
内 容 視覚障害者の方とボッチャとサウンドテーブルテニスを行った。

クリスマス会

実施日 12月17日
参加学年 ホームガーデン
実施日 12月12日
参加学年 幼稚園2歳児～幼稚園年長組

(自然の集い星)

実施日 12月16日
参加学年 小学校1年～小学校6年
内 容 キリストの生涯と教えを通して、他者への愛について学ぶ。

③伝統文化学習

謡曲・能

対象学年 中学校2年～高校3年
授業時間 隔週木曜日 9:35～10:25
発 表 11月22日

『紅葉狩』

指導 分林道治、梅田嘉宏（観世流能楽師シテ方）
左鴻泰弘（能楽森田流笛方）
井上敬介（観世流太鼓方）

前シテ	女	間宮朱理
前ツレ	侍女	河島未果
後シテ	鬼女	那須晏采
後ツレ	鬼女	奥西千風
後ツレ	鬼女	安田祈代
ワキ	平惟茂	田畑優斗
笛		杉本彩歌、地當悠花
太鼓		山下晴斗、山脇讓輝
地謡		中学校2年～高校1・3年
※解説	高校1年生	

剣 道

対象学年 小学校4年～中学校3年
授業時間 毎週水曜日 13:15～14:00（小学校）
14:15～15:05（中学校）

発 表 1月28日

日本舞踊

対象学年 小学校4年～中学校3年
授業時間 毎週水曜日 13:15～14:00（小学校）
14:15～15:05（中学校）

発 表 1月28日

		指導 花柳 内志 朗
1、菊づくし	小学校4年女子	
2、羽根の禿	小学校5年女子	
3、手習子	小学校6年女子	
4、獅子の乱曲	中学校1年女子	
5、藤娘	中学校2年女子	
6、汐汲	中学校3年女子	

芸術鑑賞教室	実施日	12月12日
	参加学年	中学校1年生～高等学校3年
	内 容	宝塚大劇場にて、宝塚歌劇雪組公演を鑑賞
七夕祭り	実施日	7月 7日
	参加学年	幼稚園2歳児～年長組・小学校1年～小学校6年 ホームガーデン
七夕送り	実施日	7月 8日
	参加学年	幼稚園2歳児～幼稚園年長組
	内 容	七夕まつりを通して日本の伝統文化を学ぶ
お月見	実施日	10月6日
	参加学年	幼稚園2歳児～幼稚園年長組 ホームガーデン
	内 容	日本の伝統文化と四季の移ろいを学ぶ
おもちつき	実施日	12月16日
	参加学年	幼稚園2歳児～幼稚園年長組
	内 容	10月に収穫した玄米でお餅をつき、食べる。
とんど焼き (学用品供養祭)	実施日	1月15日
	参加学年	ホームガーデン～中学校3年
	内 容	校庭に全員が集合してお正月飾りや書き初めを燃やし、中学生が獅子舞に扮して無病息災を祈る
伝統工芸体験	実施日	12月17日
	参加学年	小学校4年～小学校6年
	内 容	絞り染めを体験した
豆まき	実施日	2月3日
	参加学年	ホームガーデン 幼稚園2歳児～幼稚園年長組 小学校1年～小学校6年
	内 容	節分について話を聞いた後、豆まきを行う。 小学校はアレルギー対策のため豆に見立てて丸めた新聞を使った。
ひなまつり	実施日	3月3日
	参加学年	ホームガーデン 幼稚園2歳児～年長組

	内 容	ひな祭りを通して日本の伝統文化に触れる
④自然体験学習		
よもぎ団子作り	実 施 日	4 月 1 6 日
	参加学年	小学校 1 年～小学校 2 年
筍ほり(筍ほり)	実 施 日	4 月下旬
	参加学年	小学校 1 年～小学校 6 年
	実 施 日	4 月中旬～4 月下旬
		中学校 1 年～高等学校 3 年、ホームガーデン
(土入れ)	実 施 日	1 月下旬～3 月上旬(計 1 0 回)
	参加学年	中学校 1 年～中学校 3 年
	内 容	竹林の保全作業を通して、生命のたくましさに触れる。
梅ちぎり(梅ちぎり)	実 施 日	6 月上旬～中旬
	参加学年	幼稚園・小学校・中学校・高等学校
	内 容	高校生が剪定した梅の実を収穫し、ジュースにすることで、大自然の恵みに感謝する。
(剪定)	実 施 日	1 月中旬(合計 3 回)
	参加学年	高校 1 年生～高校 3 年生
	内 容	梅林の梅の枝を剪定する。
お芋掘り	実 施 日	9 月 9 日
	参加学年	幼稚園年少組
	実 施 日	9 月 3 0 日
	参加学年	幼稚園年中組・年長組
⑤幼稚園・小学校一貫教育の推進		
うきうきランド	実 施 日	5 月 3 0 日
	参加学年	幼稚園年長組、小学校 3 年～小学校 4 年
	実 施 日	1 0 月 3 1 日
	参加学年	幼稚園年長組、小学校 5 年～小学校 6 年
	実 施 日	1 月 2 3 日
	参加学年	幼稚園年中組、小学校 1 年～小学校 2 年
	内 容	小学生が幼稚園まで園児を迎えに行き、体育館や校庭でゲームや工作をする
⑥子育て支援事業の推進		
2 歳児保育	実 施 日	通年
	対 象 者	令和 7 年度に満 3 歳となる幼児
りんご組保育	実 施 日	年間 1 5 回
	対 象 者	未就園児とその保護者
さくらんぼ組保育	実 施 日	A 年間 1 5 回
		B 年間 1 3 回
	対 象 者	未就園児とその保護者

おひさまの森活動	実 施 日	プチ運動会	4 月 18 日
		性教育のお話	5 月 23 日
		つくりおきごはん	6 月 27 日
		竹下先生とおもちゃ作り	7 月 14 日
		園バス乗車体験	9 月 5 日
		染め物作り	10 月 24 日
	園庭開放	対 象 者	未就園児とその保護者
	実 施 日	毎週水曜日午前 1 0 時～正午	
給食弁当	対 象 者	未就園児・在園児とその保護者	
	実 施 日	通年	
	対 象 者	幼稚園 2 歳児～年長組の希望者	
延長保育	内 容	保護者が就業などの事情により弁当持参が難しい世帯で保護者が希望する園児への給食弁当	
	実 施 日	通年 終園～午後 6 時	
	対象学年	幼稚園 2 歳児～年長組（希望者）	
時間外在校	内 容	保護者が就業などの事情により降園後も希望する幼児を、保育する	
	実 施 日	通年 終礼～午後 6 時	
	対象学年	小学校 1 年～小学校 6 年（希望者）	
夏期保育	内 容	近所に年齢の近いお友達がいらないなどの理由で、下校後も在校を希望する児童を保育する	
	実 施 日	夏期休業期間	
	対象学年	幼稚園 2 歳児～幼稚園年長組（希望者）	
サマースクール	実施期間	夏期休業期間	
	対象学年	小学校 1 年～小学校 6 年（希望者）	
	内 容	近所に年齢の近いお友達がいらないなどの理由で、夏期休業中も在校を希望する児童を対象に、午前中は掃除や宿題、午後はプール遊びを行う	
⑦情操教育			
健康作り	参加学年	幼稚園 2 歳児～幼稚園年長組	
	実施期間	通年	
	内 容	1 年を通して半袖、半ズボン、素足で過ごす	
リズム運動	参加学年	幼稚園 2 歳児～幼稚園年長組	
	実施期間	通年	
	内 容	健康な体づくりを目指してリズム運動をする。	
マラソン	参加学年	幼稚園 2 歳児～幼稚園年長組	
	実施期間	通年	
	内 容	健康な体づくりを目指してマラソンをする。	
リトミック	参加学年	小学校 1 年～小学校 6 年	
	授業時間	毎週木曜日 1 1 : 4 0 ~ 1 2 : 2 5	

洋 舞	内 容	タンバリンに合わせてリズム運動をする				
	発 表	10月2日 13:30～14:15 授業参観として「スターライトパレード」を発表				
	参加学年	中学校1年～高校3年（女子）				
	授業時間	毎週木曜日13:15～14:05				
珠算・暗算	内 容	リズム運動を基礎として、モダンバレエの基本を通して表現力を養う				
	発 表	10月2日 13:15～14:15 授業参観として「Fight song」を発表				
	参加学年	小学校2年～小学校6年				
	授業時間	毎週火曜日 9:50～10:35（小2） 10:50～11:35（小3～4） 11:40～12:25（小5～6）				
	内 容	右脳と左脳を刺激することで脳の発達を促し、集中力を養う				
	検 定 日	第1回（4級以下） 6月20日 （3級以上） 6月22日 第2回（4級以下） 10月24日 （3級以上） 10月26日 第3回（伝票算） 12月 5日 第4回（4級以下） 2月 6日 （3級以上） 2月 8日				
	合 格 者	珠算	準初段	1名	準1級	3名
			2 級	1名	3 級	2名
			4 級	4名	5 級	3名
			6 級	7名	7 級	6名
			8 級	2名		
		暗算	3 段	1名	2 段	2名
			2 級	2名	3 級	8名
			4 級	10名	5 級	6名
			6 級	5名	7 級	2名
			8 級	1名	10 級	1名
		伝票算	準初段	1名	準2段	1名
			1 級	1名	2 級	2名
			3 級	2名		
		伝票暗算	8 段	1名	6 段	1名
			1 級	1名	2 級	3名
			3 級	1名	4 級	4名
			5 級	4名		

⑧安全教育

防火教室	参加学年	幼稚園 2 歳児～年長組
	実 施 日	6 月 5 日
避難訓練	参加学年	ホームガーデン・幼稚園 2 歳児～幼稚園年長組
	実 施 日	毎月 1 回～2 回
	参加学年	小学校 1 年生～高校 3 年生
	実 施 日	9 月 1 9 日
	内 容	火災が起きたときの退避行動等の訓練を行った
	実 施 日	3 月 1 1 日
	内 容	京都市シェイクアウト訓練にあわせた地震が起きたときの退避行動等の訓練を行った
安全教室	参加学年	小学校 1 年～小学校 6 年
	実施期間	7 月 1 8 日、1 2 月 1 9 日、3 月 1 8 日
	内 容	交通ルールや、不審者対策など安全な登下校のための注意点を考える
交通安全教室	参加学年	小学校 1 年～6 年
	実施期間	1 0 月 1 6 日
	内 容	山科警察署の指導員による自転車の安全な乗り方の講習
	参加学年	中学校 1 年～3 年
	実施期間	7 月 1 1 日
	内 容	自転車の安全な乗り方を学ぶ
スマホ教室	参加学年	中学校 1 年～中学校 3 年
	実 施 日	7 月 1 8 日
	参加学年	高等学校 1 年～高等学校 3 年
	実 施 日	7 月 1 8 日
	内 容	KDDI のインストラクターによるスマホの危険性についての動画を視聴した
薬物乱用防止教室	参加学年	小学校 5 年～小学校 6 年
	実 施 日	3 月 2 7 日
	内 容	山科警察署の指導員による薬物依存についての講演
	参加学年	中学校 1 年～高等学校 3 年
	実施期間	1 2 月 1 8 日
	内 容	京都ダルクより派遣された講師による薬物依存についての授業
⑨キャリア教育		
進路講演	参加学年	高等学校 1 年生～高等学校 3 年生
	内 容	株式会社ジンジブによる講演
	実 施 日	5 月 2 9 日「世の中にはどんな仕事がある？」
		6 月 5 日「ジョブFes準備講座」

6月19日「社会人講話（恵装飾）」
7月11日「職業体験：河原勝庭園」

ジョブドラフトFES参加

対象学年 高等学校1年生～高等学校3年生

実施日 6月10日

行き先 みやこメッセ

内 容 合同企業説明会

進路講演

参加学年 高等学校1年生

実施日 7月14日

内 容 進研アドによる講演「文理選択と大学研究」

オープンカンパニー

参加学年 高等学校1年生～3年生

内 容 株式会社ジンジブによる職業体験

実施日 7月22日 （株）トヨペットステーション山科

7月24日 株式会社フーズネット

7月28日 株式会社トスレック

7月29日 アスコネックス株式会社

8月13日 株式会社アハウプロジェクト

8月15日 株式会社河原勝庭園

インターンシップ

参加学年 高等学校1年生～高等学校3年生（希望者）

実施日 12月15日～12月17日

行き先 須川車体

進路講演

参加学年 高等学校2年生

実施日 3月16日

内 容 進研アドによる講演「志望理由書の書き方」

（8）国際理解と国際交流の推進

①プロジェクト・トラストから「ギャップイヤーチューデント」の受入

英国のボランティア団体「プロジェクト・トラスト」が派遣するギャップイヤーチューデントの受け入れを行った。

1) 受入期間 令和6年9月～令和7年8月

受入人数 2名

2) 受入期間 令和7年9月～令和8年8月

受入人数 2名

②英会話

英語教諭を中心とした英会話の授業を実施した。

小学校 週2時間

中学校 週1時間

高等学校 週1時間

(9) 広報・幼児児童生徒募集活動の強化・活性化

①地下鉄山科駅構内に広告を掲示

看板広告を作成し、地下鉄山科駅構内に掲示

②近隣市町村の学習塾・進学塾へ学校案内を送付

③塾対象学校説明会

④幼稚園ホームページの充実・Instagramの充実

⑤保育園・幼稚園に配布されるフリーペーパーに小学校の広告を掲載

⑥山科・大津地区に配布される情報誌に幼稚園のチラシ折り込み

⑦ホームガーデンホームページ開設

⑧子育て支援誌「おふいすパワーアップ」掲載

企業主導型保育事業特集ページへのホームガーデン広告記事掲載

⑨公式SNSの充実

公式ブログ、Instagramを開設し、日常の生活や行事の様子などをアップした。

⑩学校応援サイトYellzやSNSなどを活用した発信力強化

⑪大津市ランチの部屋で未就園児親子対象の出張保育を実施

(10) 地域社会への貢献

①一燈園夏期学校（大愚塾「夏安居」）

全国の中学生・高校生を対象とした夏期スクール

i) 期 間 令和7年8月6日・8月7日

ii) 対 象 全国の中学生・高校生

iii) 講 師 全国私立学校の教員、学校関係者、本校保護者、その他

iv) 内 容 学 習 6 講座

作 務 2 講座

講 話 2 講座

②燈影ホームガーデン

企業主導型保育事業として燈影学園の事業所内小規模保育「燈影ホームガーデン」において、学園教職員の子及び提携事業所の従業員の子、地域住民の子の保育を行う。（0歳児～2歳児）

4月から一時預かり保育、体調不良児保育（6月から12月まで中断）を実施した。

③インターンシップの活用

i) 高校生や中学生が地域の事業所で職業体験・インターンシップを行う。

ii) 教育や保育に関心のある地域の学生等のインターンシップを受入れる。

④環境美化活動

廃品整理

i 期 間 通年（毎週金曜日）

ii 学 年 高校1年～高校3年

iii 内 容 地域の空き缶や空き瓶を回収・分別した

⑤施設開放

i 体育館		
一 心 塾（剣道）	週 2 日（18：30～20：00）	
ii 集会室		
浦珠算塾	週 1 回（16：00～17：00）	
iii グランド		
山科ユナイテッドFC	週 3 回（18：00～20：00）	
iv 幼稚園講堂		
石原完二モダンダンススタジオ	週 1 回（14：30～17：30）	
バイオリン教室	月 3 回（14：00～17：00）	

(11)天香奨学金

一燈園高等学校へ内部進学した生徒に対して支給した

対 象 者	一燈園高等学校	6 名
支 給 額	600,000 円	

(12)教師力向上

① I C T 研修の実施

小学校において教員の I C T 指導力向上のため、校内研究を実施した。

②スクールカウンセラーとの研修の実施

小中高の教員合同でスクールカウンセラーと保護者対応のしかたについての研修を行った。

(13)進路実績

令和 7 年度卒業生の進路は次のとおりであった。

一燈園高等学校卒業生徒	2 名	岡山理科大学	1 名
		未定	1 名
一燈園中学校卒業生徒	9 名	一燈園高等学校	3 名
		公立高等学校	1 名
		私立高等学校	4 名
		未定	1 名
一燈園小学校卒業児童	15 名	一燈園中学校	13 名
		公立中学校	1 名
		公立中高一貫校	1 名

(14)経済的な事情のある児童生徒への支援

令和 7 年度、つぎのとおり授業料減免を実施した。

一燈園高等学校		
授業料減免対象生徒	15 名（1,805,200 円）	

京都府あんしん修学支援事業対象生徒	9名 (1,504,600円)
その他の経済的事由による授業料減免生徒	1名 (40,800円)
兄弟姉妹在籍による授業料減免生徒	5名 (259,800円)
一燈園中学校	
授業料減免対象生徒	14名 (4,556,400円)
京都府あんしん修学支援事業対象生徒	9名 (4,134,600円)
その他の経済的事由による授業料減免生徒	2名 (241,200円)
兄弟姉妹在籍による授業料減免生徒	3名 (180,600円)
一燈園小学校	
授業料減免対象児童	45名 (5,695,200円)
京都府あんしん修学支援事業対象児童	17名 (4,498,200円)
その他の経済的事由による授業料減免児童	11名 (792,000円)
兄弟姉妹在籍による授業料減免児童	17名 (405,000円)

(15)働き方改革への対応

①労務管理の徹底

令和7年度も引き続き、小学校・中学校・高等学校・幼稚園は1年単位の変形労働時間制を適用し、学期中や行事前は一日の勤務時間が8時間を超える日を設定する一方で、春期、夏期、冬期の長期休業期間中や土曜日など生徒等が登校しない期間については、一日の勤務時間を6時間以内に短縮した。

出退勤管理のシステム化にあたって、出退勤打刻のタイミングについて教職員に改めて周知した。

②ストレスチェックの実施

小学校・中学校・高等学校の教職員を対象に、ストレスチェックとはたらきがいアンケートを実施した。

(16)事務の効率化

①ホームガーデンから高等学校までの事務の効率化

ホームガーデン、幼稚園、学校に分かれて行っていた事務作業の効率化を図り、給与・人事業務を法人本部で一括して行う。

②勤怠管理システムの導入

勤怠管理システムを導入し、WEBサイトでの休暇等の届け出管理など、事務作業の効率化を図った。

VII 学校評価結果

(1) 自己評価結果

令和8年3月校長・園長を中心に自己評価を実施した。

①学校法人

○…できている、×…できていない、△…どちらともいえない

	項 目	評価	改善を要する点
教育理念・目標	建学の精神・教育理念を内外へ提示している	○	
	教育目的を内外へ提示している	○	
	教育方針を内外へ提示している	○	
教員の状況	教育目的達成のために必要な教職員を配置している	△	教員の絶対数の不足がある
	教職員の採用・昇進の方針が明確に提示されている	△	
	教職員の採用・昇進の方針は適正に運用されている	△	
施設設備	教育目的達成のために必要な施設・設備が整備・維持されている	△	改善にむけた努力をしているが充分とはいえない
	施設設備の安全性は確保されている	△	留意し、改善にむけた努力は行っているが充分とはいえない
	適正な教育研究環境が整備されている	△	
管理運営	教育目的達成のための管理運営体制が整備されている	△	職員数に限界がある
	管理部門と教務・学務部門は適切に連携している	○	
	自己点検・評価結果が運営に反映されている	△	努力しているが、充分とはいえない
財務	学校の教育目的達成のための財政基盤は確保されている	△	教育内容の充実と共に児童生徒数の増加を目指している
	収支バランスを考慮した運営及び適正な会計処理を行っている	△	収支バランスについては最大限の努力をしている
	財務情報を適正に公表している	○	
	外部資金導入のために努力している	○	

②一燈小・中・高等学校

○…できている、×…できていない、△…どちらともいえない

	項 目	評価	改善を要する点
教育理念・目標	建学の精神・教育理念を学校内外へ提示している	○	
	教育目的を学校内外へ提示している	○	
	教育方針を学校内外へ提示している	○	
生徒募集・入学者選抜	アドミッションポリシー（学校が受験生に求めている能力・適正等）を明確に提示している	△	本校は学力選抜に価値観選抜を加味しているため、明確さに欠けるが、これは重要なポイントであると受け止めている
	アドミッションポリシーを適正に運用している	△	
カリキュラム	カリキュラムは教育方針に基づいて編成されている	○	
	教育の方法（内容）には教育方針が反映されている	○	

各教科の 授業内容 ・ 成績評価等	児童生徒（保護者）に各教科の授業の進め方を説明している	△	シラバスの作成・配布の徹底については、改善されたが充分ではない
	実験・実習等を活用し、生徒等が体験する機会を積極的ににつくっている	○	
	コンピュータ教育を積極的に実施している	△	I T教育はI S教育とあわせて行う
	各教科の成績評価の基準を生徒（保護者）に説明している	○	
指導方法等 の工夫等	国語・数学（算数）・英語の基礎を徹底して学習している	△	基礎学習の重要性を認識し、効果を更に向上させたい
	教員は積極的に研修に取り組み、スキルアップに励んでいる	△	学校行事その他に時間と意識が奪われやすいが徐々に改善されている
	学校は教員のスキルアップを支援している	△	更に外部研究会への参加を促したい
卒業生	卒業生の進学指導	○	
	卒業生の就職支援	○	
教員の状況	教育目的達成のために必要な教職員を配置している	△	教員の絶対数の不足がある
	教職員の採用・昇進の方針が明確に提示されている	△	
	教職員の採用・昇進の方針は適正に運用されている	△	
施設設備	教育目的達成のために必要な施設・設備が整備・維持されている	△	改善にむけた努力をしているが充分とはいえない
	施設設備の安全性は確保されている	△	留意し、改善にむけた努力は行っているが充分とはいえない
	適正な教育研究環境が整備されている	△	
その他	地域社会との協力関係が構築されている	△	改善の結果、徐々にではあるが進展が見られる
	学校安全計画、学校防災計画等の危機管理体制が整備されている	△	
	公正かつ適正な広報活動体制を整備している	△	

③いずみ幼稚園

○…できている、×…できていない、△…どちらともいえない

	項 目	評価	改善を要する点
教育理念・ 目標	建学の精神・教育理念を園内外へ提示している	○	
	教育目標を園内外へ提示している	○	
	教育方針を園内外へ提示している	○	
保育	カリキュラムは教育方針に基づいて編成されている	○	
	教育の方法（内容）には教育方針が反映されている	○	
教員の状況	保育に必要な教職員を配置している	○	
	教職員の採用・更新の方針が明確に提示されている	○	
	教職員の採用・更新の方針は適正に適用されている	○	
指導方法等 の工夫等	健康第一を目標に保育に努めている	△	
	主体性のある保育を実現する環境を整える努力をしている	△	

	発達に即した保育を学び、個々とクラス全体のバランスに配慮した保育がなされている	○	
施設設備	教育目標達成のために必要な施設・設備が整備・維持されている	○	
	施設設備の安全性は確保されている	△	安全性の面では南園舎の老朽化が気になる
	適正な教育研究環境が整備されている	△	
その他	安全計画・防災計画等の危機管理体制が整備されている	△	改善に努めている

④燈影ホームガーデン

○…できている、×…できていない、△…どちらともいえない

	項 目	評価	改善を要する点
保育理念・目標	建学の精神・教育理念を園内外へ提示している	○	
	教育目的を園内外へ提示している	○	
保育	保育内容は保育方針に基づいて編成されている	○	
	保育の方法（内容）には保育方針が反映されている	○	
職員の状況	保育に必要な教職員を配置している	△	求人難により欠員補充が難しい
	保育士の採用・昇進の方針が明確に提示されている	○	
	保育士の採用・昇進の方針は適正に運用されている	○	
施設設備	保育目的達成のために必要な施設・設備が整備・維持されている	○	
	施設設備の安全性は確保されている	○	
	適正な保育環境が整備されている	○	
その他	安全計画、防災計画等の危機管理体制が整備されている	△	

(2) 学校関係者評価結果

①小学校・中学校・高等学校の保護者、教職員

実施時期 令和7年12月

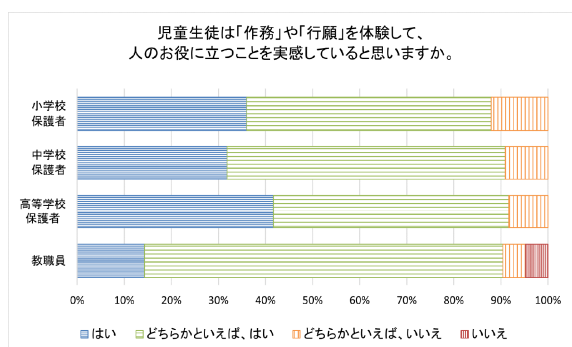
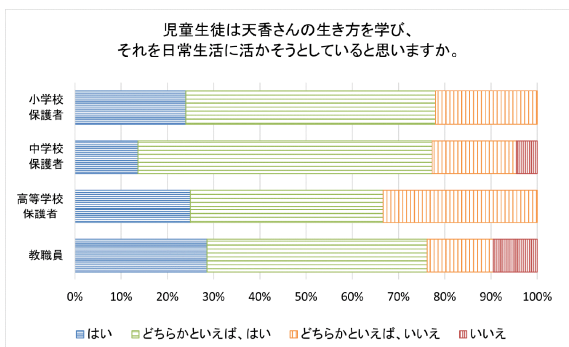
実施方法 さくら連絡網（メール連絡網）による無記名アンケート

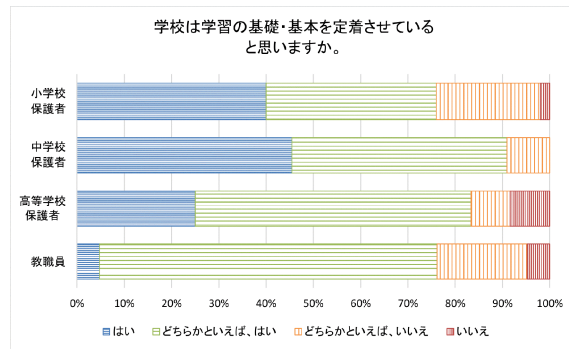
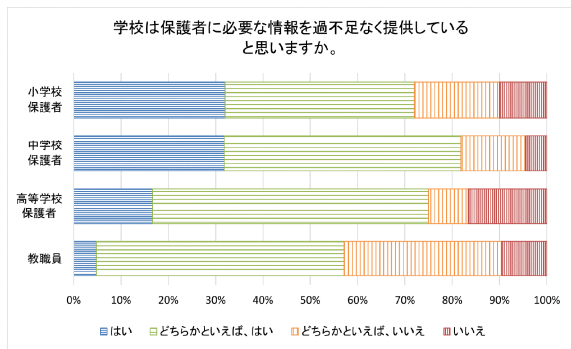
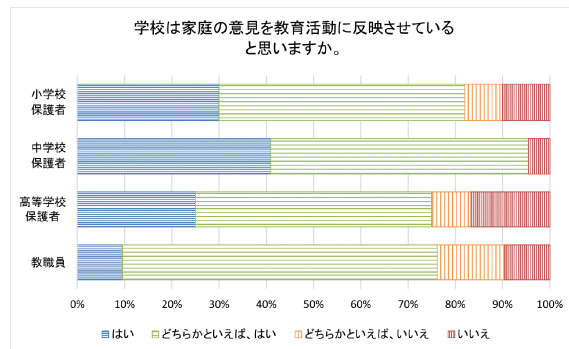
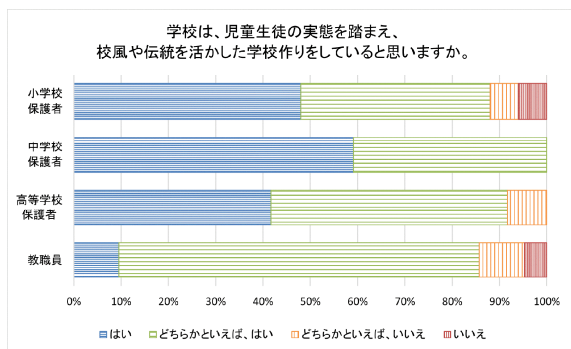
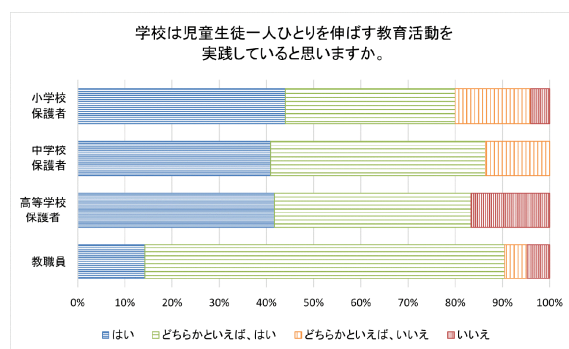
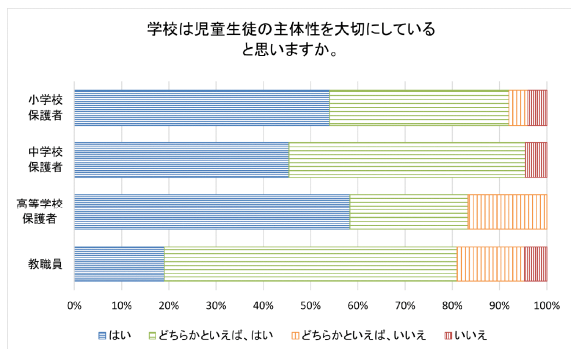
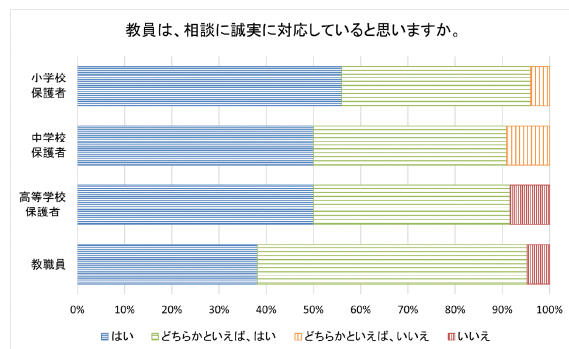
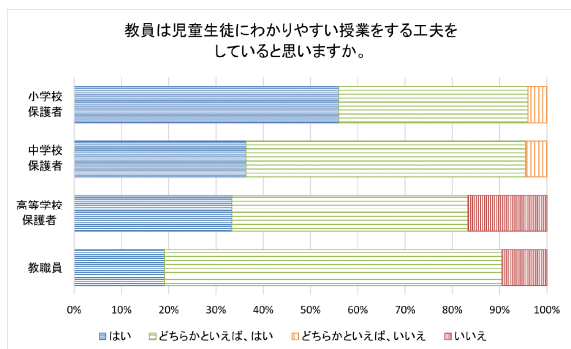
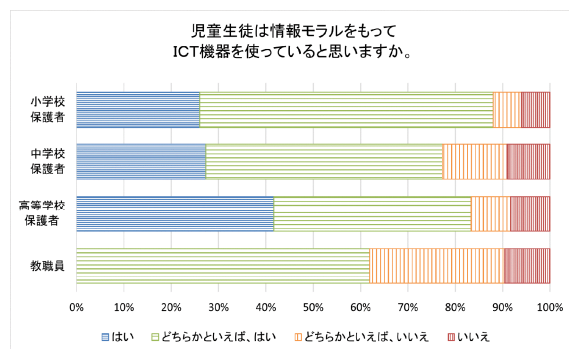
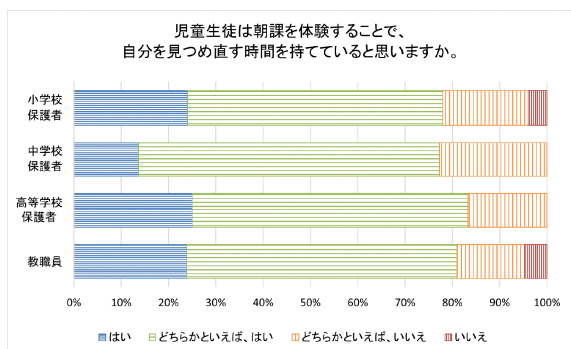
回答率 小学校保護者 50/62

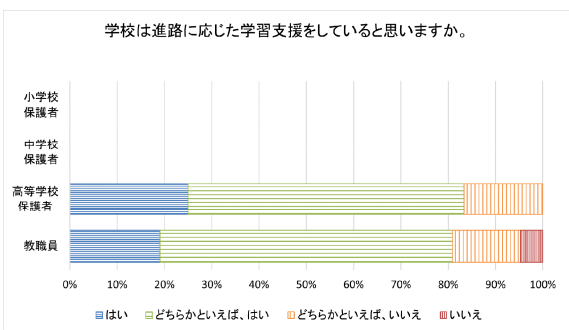
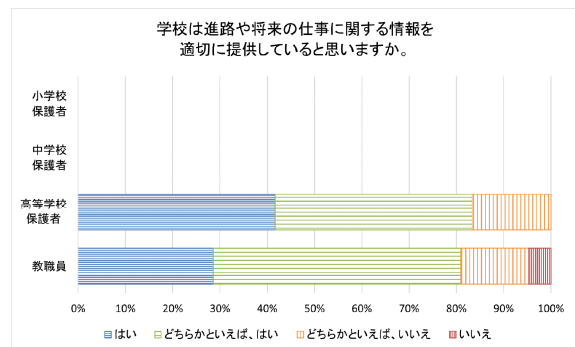
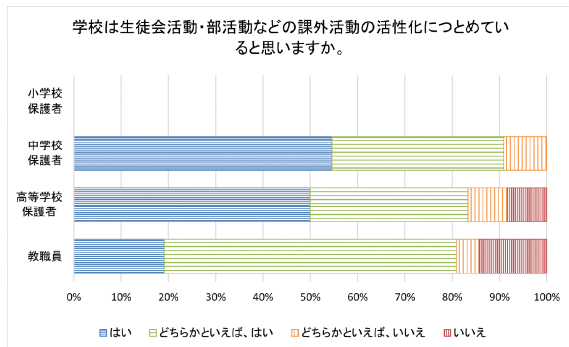
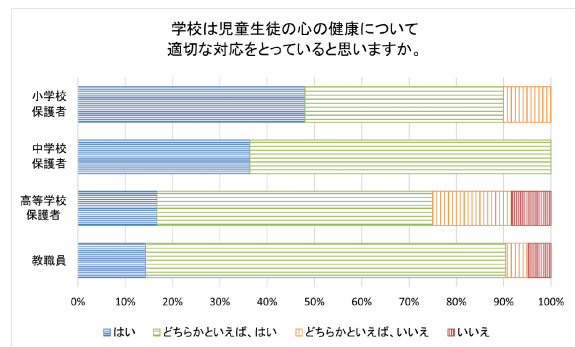
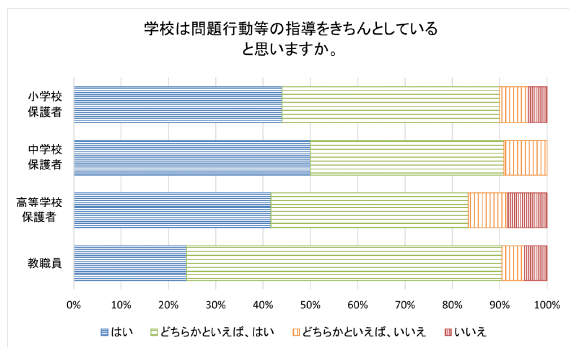
中学校保護者 22/28

高等学校保護者 12/18

教職員 21/28







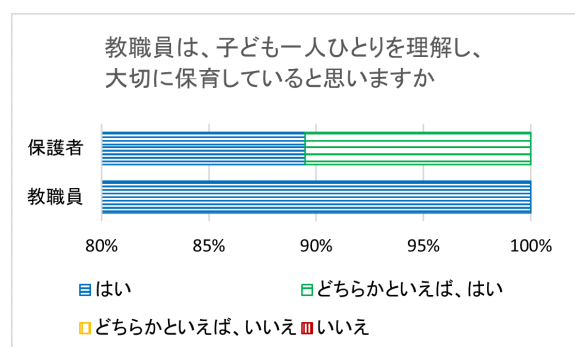
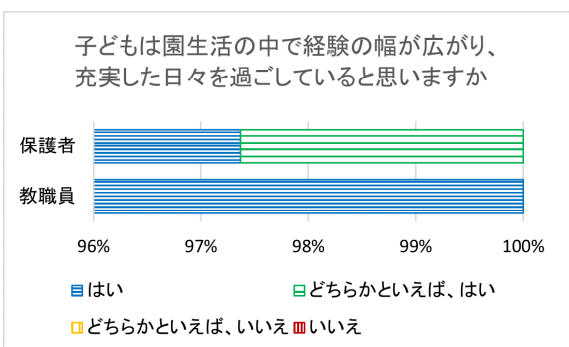
③いずみ幼稚園の保護者、職員

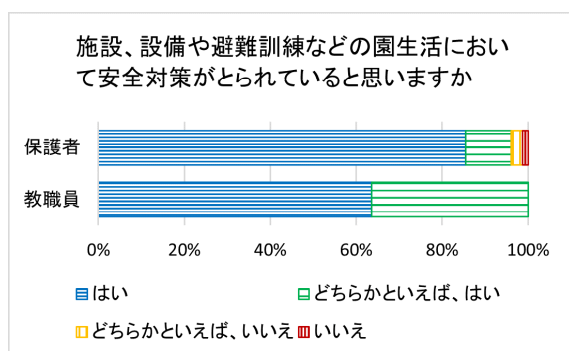
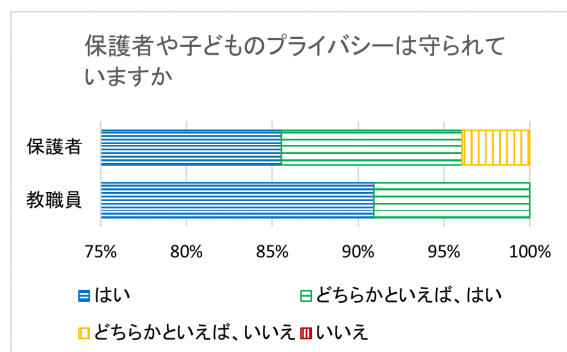
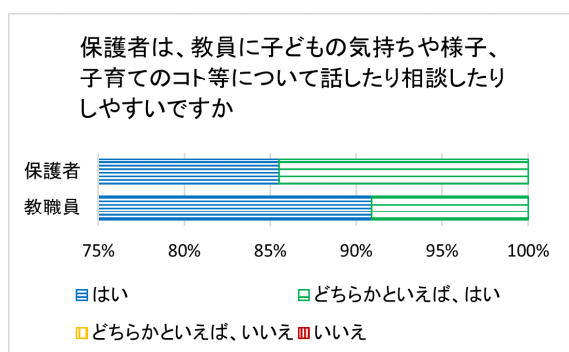
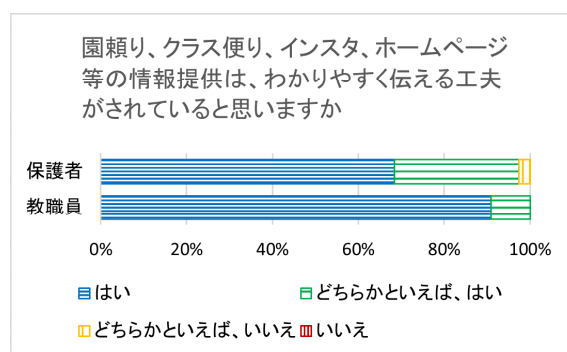
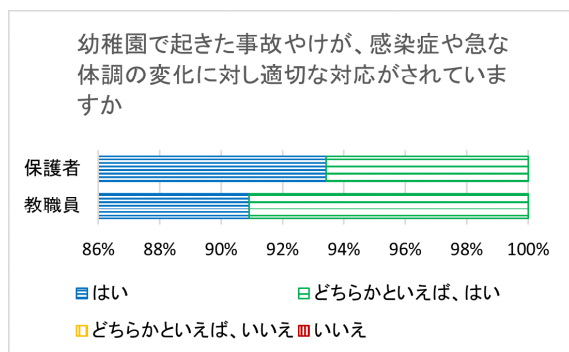
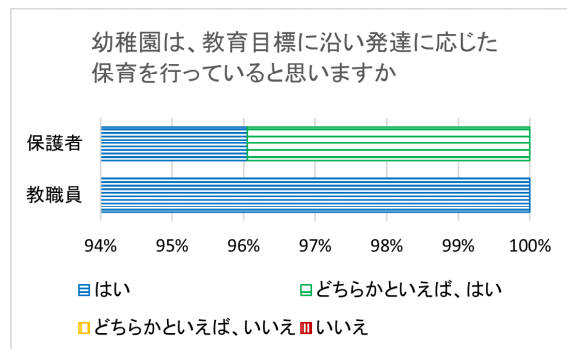
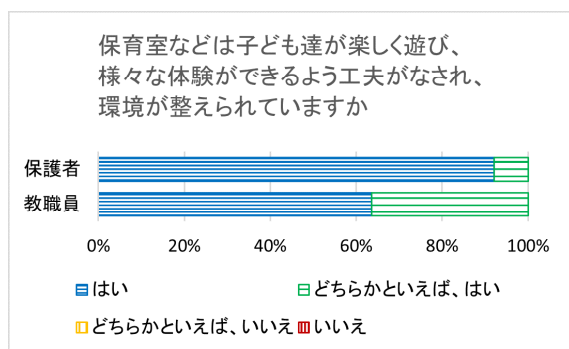
実施時期 令和8年1月

実施方法 メール連絡網による無記名アンケート

回答率 保護者 76/86

教職員 11/20





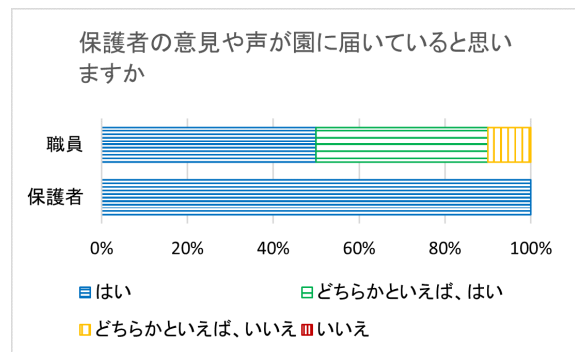
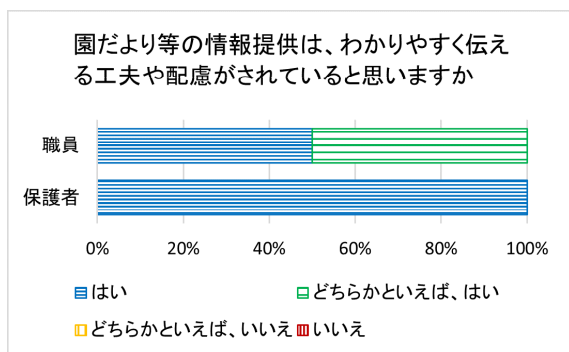
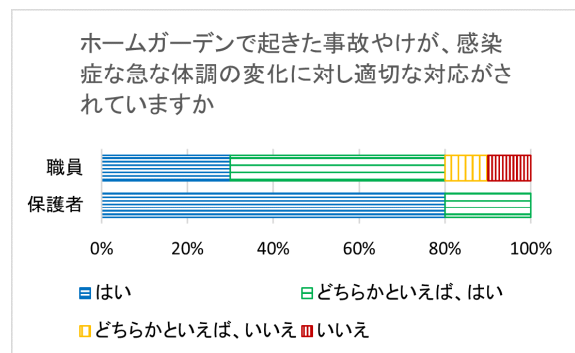
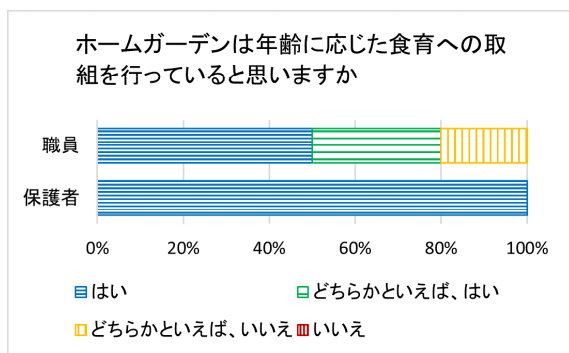
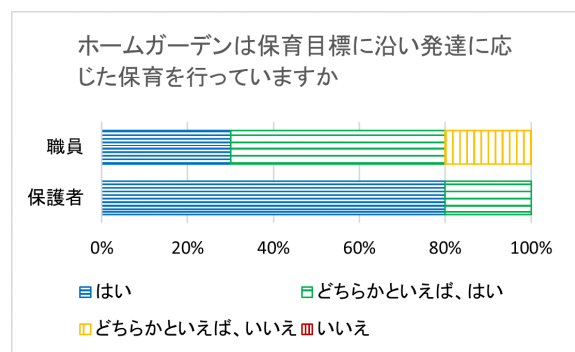
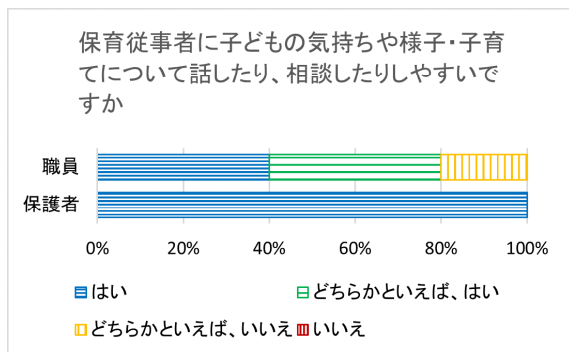
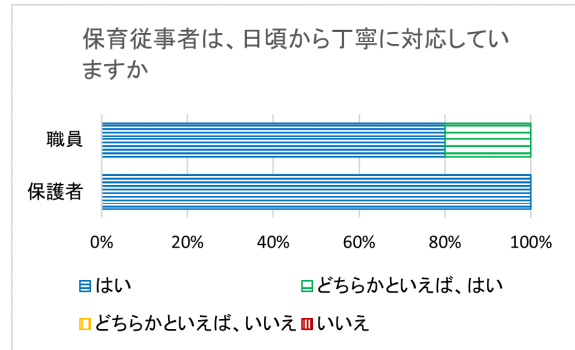
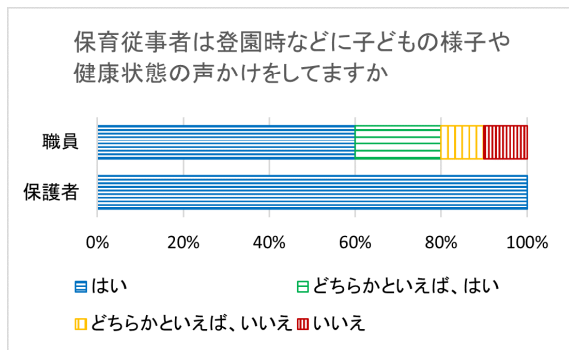
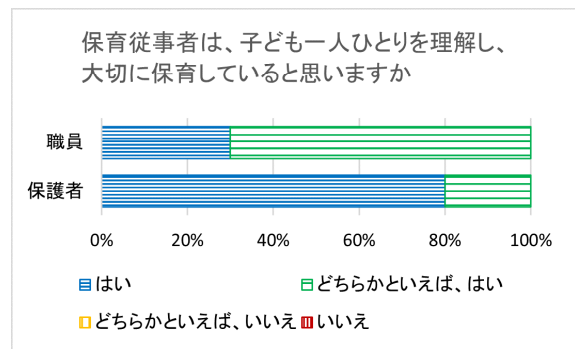
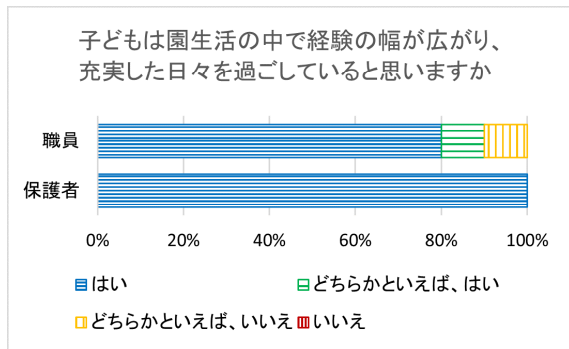
④ 燈影ホームガーデンの保護者、職員

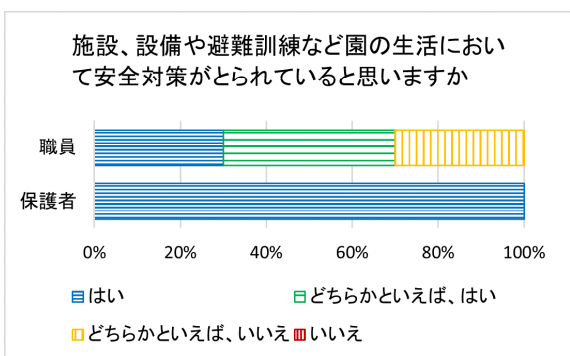
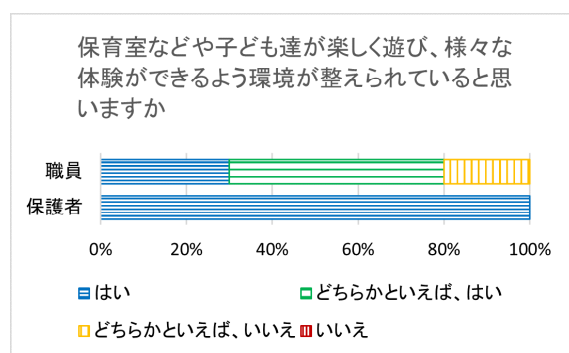
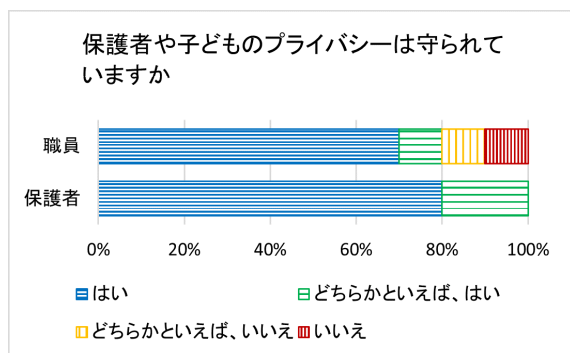
実施時期 令和7年12月

実施方法 さくら連絡網（メール連絡網）による無記名アンケート

回答率 保護者 5/9

教職員 10/17





VIII 令和 7 年度決算

〈学校会計について〉

1. 学校会計と企業会計との違いについて

企業会計では「損益計算書」「貸借対照表」「キャッシュフロー計算書」が作成されます。企業では営業活動の成績を損益計算書であらわし、単年度の事業状況を明確化し、経営成績を知ることによって収益を高めることに役立てます。

一方、学校会計では、学校法人会計基準により定められた会計処理を行い「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」及びこれらに付随する内訳表・明細表の各計算書類を作成します。

2. 各計算書類の目的

①「資金収支計算書」は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収支の内容並びに当該会計年度における支払資金の収支の顛末を明らかにすることが目的であり、企業会計の「キャッシュフロー計算書」に類似したものです。

「資金収支計算書」は収入と支出を一覧表示する形式となっているので、企業会計の損益計算書やキャッシュフロー計算書のように区分表示を行った「活動区分資金収支計算書」を補助的に作成します。

②「事業活動収支計算書」は、当該会計年度における事業活動収支の均衡状態とその内容を明らかにし、学校法人の経営状況を示すもので、企業会計の損益計算書にあたるものです。

③「貸借対照表」は、年度末における学校法人の財政状態をあらわした計算書類で、企業会計の貸借対照表と同様のものです。

3. 基本金

学校会計の特徴として、基本金があります。基本金は学校法人会計基準に「学校法人がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その事業活動収入の内から組み入れた金額を基本金とする。」と規定されています。

基本金は、次の4種類があります。

①学校法人が設立当初に取得した固定資産で教育の用に供されるものの価額または新たな学校の設置もしくは既設の学校の規模の拡大もしくは教育の充実向上のために取得した固定資産の価額

ただし、固定資産を借入金又は未払い金により取得した場合において、当該借入金又は未払い金に相当する金額については、当該借入金又は未払い金の返済又は支払を行った会計年度において、相当する金額を基本金へ組み入れます。

②学校法人が新たな学校の設置又は既設の学校の規模の拡大若しくは教育の充実向上のために将来取得する固定資産の取得に充てられる金銭その他の資産の額

③基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭その他の資産の額

④恒常的に保持すべき資金

4. 財務比率のみかた

i 消費収支計算書関係比率

比 率 名	算 式
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額÷事業活動収入
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金÷経常収入
寄付金比率	寄付金÷事業活動収入
補助金比率	補助金÷事業活動収入
人件費比率	人件費÷経常収入
教育研究経費比率	教育研究経費÷経常収入
管理経費比率	管理経費÷経常収入
借入金等利息比率	借入金等利息÷経常収入
基本金組入率	基本金組入額÷事業活動収入
減価償却費比率	減価償却額÷消費支出
人件費依存率	人件費÷学生生徒等納付金
補正人件費依存率	人件費÷（学生生徒等納付金＋補助金）
基本金組入後収支比率	事業活動支出÷（事業活動収入－基本金組入額）
経常収支差額比率	経常収支差額÷経常収入
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額÷教育活動収入計

(注) 事業活動収支計算書関係の算式で使用している用語の内容について

経常収入＝教育活動収入計＋教育活動外収入計 事業活動収入＝経常収入＋特別活動収入計
 経常支出＝教育活動支出計＋教育活動外支出計 事業活動支出＝経常支出＋特別活動支出計

ii 貸借対照表関係比率

分 類	比 率 名	算 式	評価
資産構成は どうなっ ているか	固定資産構成比率	固定資産÷総資産	▼
	有形固定資産構成比率	有形固定資産÷総資産	▼
	特定資産構成比率	特定資産÷総資産	△
	流動資産構成比率	流動資産÷総資産	△
	減価償却比率	減価償却累計額÷減価償却資産取得価額	～
負債の割合 はどうか	固定負債構成比率	固定負債÷（総負債＋純資産）	▼
	流動負債構成比率	流動負債÷（総負債＋純資産）	▼
	総負債比率	総負債÷総資産	▼
	負債比率	総負債÷純資産	▼
自己資金は 充実されて いるか	純資産構成比率	純資産÷（総負債＋純資産）	△
	繰越収支差額構成比率	繰越収支差額÷（総負債＋純資産）	△
	基本金比率	基本金÷基本金要組入額	△
長期資金で固定資産は 賄われているか	固定比率	固定資産÷純資産	▼
	固定長期適合率	固定資産÷（純資産＋固定負債）	▼
負債に備え る資産が蓄 積されてい るか	内部留保資産比率	（運用資産－総負債）÷総資産	△
	運用資産余裕比率	（運用資産－外部負債）÷経常支出	△
	流動比率	流動資産÷流動負債	△
	前受金保有率	現金預金÷前受金	△
	退職給与引当預金率	退職給与引当特定預金÷退職給与引当金	△
	積立率	運用資産÷要積立額	△

(注) 貸借対照表関係の算式で使用している用語の内容・評価の見方について

運用資産＝現金預金＋特定資産

外部負債＝借入金＋未払い金

要積立額＝減価償却累計額＋退職給与引当金

△ 数値が高いほうがよい

▼ 数値が低いほうがよい

～ どちらともいえない

(1) 収支計算書

資金収支計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	71,823,889	人 件 費 支 出	243,588,799
手 数 料 収 入	402,760	教育研究経費支出	75,505,511
寄 付 金 収 入	20,955,200	管 理 経 費 支 出	13,014,004
補 助 金 収 入	244,671,130	借入金等利息支出	707,779
資 産 売 却 収 入	0	借入金等返済支出	5,940,000
付 随 事 業 収 入	12,931,393	施 設 関 係 支 出	899,800
受取利息・配当金収入	226,265	設 備 関 係 支 出	10,069,597
雑 収 入	12,422,579	資 産 運 用 支 出	18,000,000
借 入 金 等 収 入	0	そ の 他 の 支 出	22,336,359
前 受 金 収 入	4,173,466	資金支出調整勘定	△11,507,191
そ の 他 の 収 入	47,662,493	翌年度繰越支払資金	118,448,287
資金収入調整勘定	△29,892,683	支出の部 合計	497,002,945
前年度繰越支払資金	111,626,453		
収入の部 合計	497,002,945		

活動区分資金収支計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

教育活動による資金収支		科 目	金 額		科 目	金 額
	収入の部	学生生徒等納付金	71,823,889	支出の部	人 件 費	243,588,799
		手 数 料	402,760		教 育 研 究 経 費	75,505,511
		寄 付 金	20,955,200		管 理 経 費	12,224,518
		経 常 費 補 助 金	244,239,130			
		付 随 事 業 収 入	12,931,393			
		雑 収 入	12,422,579			
		教 育 活 動 収 入 計	362,774,951		教 育 活 動 支 出 計	331,318,828
	調 整 勘 定					6,180,042
教 育 活 動 収 支 差 額					37,636,165	
施設設備等による活動収支		科 目	金 額		科 目	金 額
	収入の部	施設設備関係納付金	0	支出の部	施 設 関 係 支 出	899,800
		施設設備関係寄附金	0		設 備 関 係 支 出	10,069,597
		施設設備関係補助金	432,000		特 定 資 産 繰 入 支 出	18,000,000
		資 産 売 却 収 入	0			
		特 定 資 産 取 崩 収 入	5,000,000			
		施設設備活動資金収入計	5,432,000		施 設 設 備 活 動 資 金 支 出 計	28,969,397
	調 整 勘 定					0
	施設設備等活動資金収支差額					△23,537,397
小計（教育活動資金収支差額＋施設設備等活動資金収支差額）					14,098,768	

科 目			金 額	科 目			金 額
その 他 の 活 動 資 金	収 入 の 部	借 入 金 等 収 入	0	支 出 の 部	借入金等返済支出	5,940,000	
		有価証券売却収入	0		有価証券購入支出	0	
		特定資産取崩収入	129,500		特定資産繰入支出	0	
		そ の 他 の 収 入	53,032,147		そ の 他 の 支 出	53,227,581	
		受取利息・配当金収入	226,265		借入金等利息支出	707,779	
		過 年 度 修 正 収 入	0		デリバティブ解約損支出	0	
					過 年 度 修 正 支 出	789,486	
		その他の活動資金収入計	53,387,912		その他の活動資金支出計	60,664,846	
		調 整 勘 定					0
	その他の活動資金収支差額					-7,276,934	
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）						6,821,834	
前年度繰越支払資金						111,626,453	
翌年度繰越支払資金						118,448,287	

事業活動収支計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

		科 目	金 額		科 目	金 額
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	71,823,889	事業活動支出の部	人 件 費 (うち退職給与引当金)	232,768,499 (120,000)
		手 数 料	402,760		教 育 研 究 経 費 (うち減価償却額)	97,242,181 (21,613,670)
		経 常 費 寄 付 金	21,078,200		管 理 経 費 (うち減価償却額)	12,385,052 (160,534)
		経 常 費 補 助 金	244,239,130		徴 収 不 能 額 等	0
		付 随 事 業 収 入	12,931,393		教育活動支出計	342,395,732
		雑 収 入	2,236,379			
		教育活動収入計	352,711,751			
	教育活動収支差額					10,316,019
教育活動外収支	事業活動収入	受取利息・配当金	226,265	事業活動支出	借入金等利息	707,779
		その他の教育活動外収入	0		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外収入計	226,265		教育活動外支出計	707,779
	教育外活動収支差額					△481,514
	経 常 収 支 差 額					9,834,505
特別収支	収入の部	資 産 売 却 差 額	0	支出の部	資 産 処 分 差 額	0
		施設設備補助金収入	432,000		過 年 度 修 正 支 出	789,486
		本 部 負 担 金 収 入	9,070,396		本 部 負 担 金 支 出	9,070,396
		その他の特別収入	0			
		特 別 収 入 計	9,502,396		特 別 支 出 計	9,859,882
		特 別 収 支 差 額				
	基本金組入前当年度収支差額					9,477,019
	基本金組入額					△22,488,197
	当年度収支差額					△13,011,178
	前年度繰越収支差額					△341,671,024
	基本金取崩額					0
	翌年度繰越収支差額					△354,682,202

貸 借 対 照 表

令和8年3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
固 定 資 産	(513,306,448)	固 定 負 債	(60,152,090)
有 形 固 定 資 産	467,738,569	長 期 借 入 金	51,830,000
特 定 資 産	45,521,979	退 職 給 与 引 当 金	8,322,090
その他の固定資産	45,900	流 動 負 債	(23,489,596)
流 動 資 産	(145,201,965)	負 債 の 部 合 計	83,641,686
現 金 預 金	118,448,287	純 資 産 の 部	
その他の流動資産	26,753,678	1 号 基 本 金	900,548,929
資 産 の 部 合 計	658,508,413	4 号 基 本 金	29,000,000
		繰 越 収 支 差 額	△354,682,202
		純 資 産 の 部 合 計	574,866,727
		負債の部及び純資産の部合計	658,508,413

(注記)

- 重要な会計方針
退職金引当金の算定基準は次の通りである。
退職金の支給に備えるため、期末要支給額額84,069,600円を基にして、公益財団法人京都府私学退職金財団から交付金を控除した額の100%を計上している。
- 重要な会計方針の変更等
該当する事項はない。
- 減価償却額の累計額の合計額
490,955,660円
- 徴収不能引当金
徴収不能金の実績から、徴収不能引当金は0円とする。
- 担保に供されている資産の種類及び額
日本私立学校振興・共済事業団からの借入金
借入額 84,000,000円
担 保 幼稚園土地（自有地）の全て 3,403㎡
取得帳簿価額 5,345,000円
幼稚園建物の全て 1,624.81㎡
取得帳簿価額 246,684,637円
- 翌会計年度以後の会計年度において基本金へ組入れを行うこととなる金額は次のとおりである。
58,191,200円
- 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資産を有していない場合のその旨と対策
第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。
- その他財政および経営の状況を正確に判断するために必要な事項に該当する事項はない。

(2) 財務分析

①学校法人全体の収支の状況

収入の状況	R03	R04	R05	R06	R07	R06全国平均	R06京都府平均
生徒等納付金比率	30.5%	31.8%	30.0%	21.1%	20.4%	62.9%	58.7%
寄附金比率	9.0%	9.3%	9.4%	7.6%	5.8%	4.4%	4.1%
補助金比率	52.2%	52.0%	52.7%	64.7%	67.5%	37.3%	34.9%
減価償却額比率	7.2%	6.9%	7.0%	6.3%	6.3%	10.6%	8.4%
生徒等納付金	90,209,674	96,787,468	90,628,183	73,571,560	71,823,889		
経常寄附金	27,978,466	28,908,495	29,316,854	27,916,491	21,078,200		
経常補助金	161,951,880	161,693,432	165,094,300	230,977,163	244,239,130		

支出の状況	R03	R04	R05	R06	R07	R06全国平均	R06京都府平均
人件費比率	67.8%	67.8%	69.4%	63.4%	66.0%	62.9%	58.7%
教育研究経費比率	29.0%	29.2%	28.2%	25.8%	27.6%	29.6%	29.1%
管理経費比率	3.5%	3.1%	3.2%	4.5%	3.5%	7.3%	8.7%
借入金等利息比率	0.4%	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	0.4%	0.4%
基本金組入率	4.4%	4.6%	3.9%	8.0%	6.2%	10.6%	7.9%
人件費	200,404,603	206,114,927	209,481,763	221,266,747	232,768,499		
教育研究経費	85,690,078	88,641,135	85,053,282	89,907,721	97,242,181		
管理経費	10,289,230	9,324,544	9,754,309	15,649,595	12,385,052		
借入金等利息	1,193,819	1,059,791	931,362	802,142	707,779		

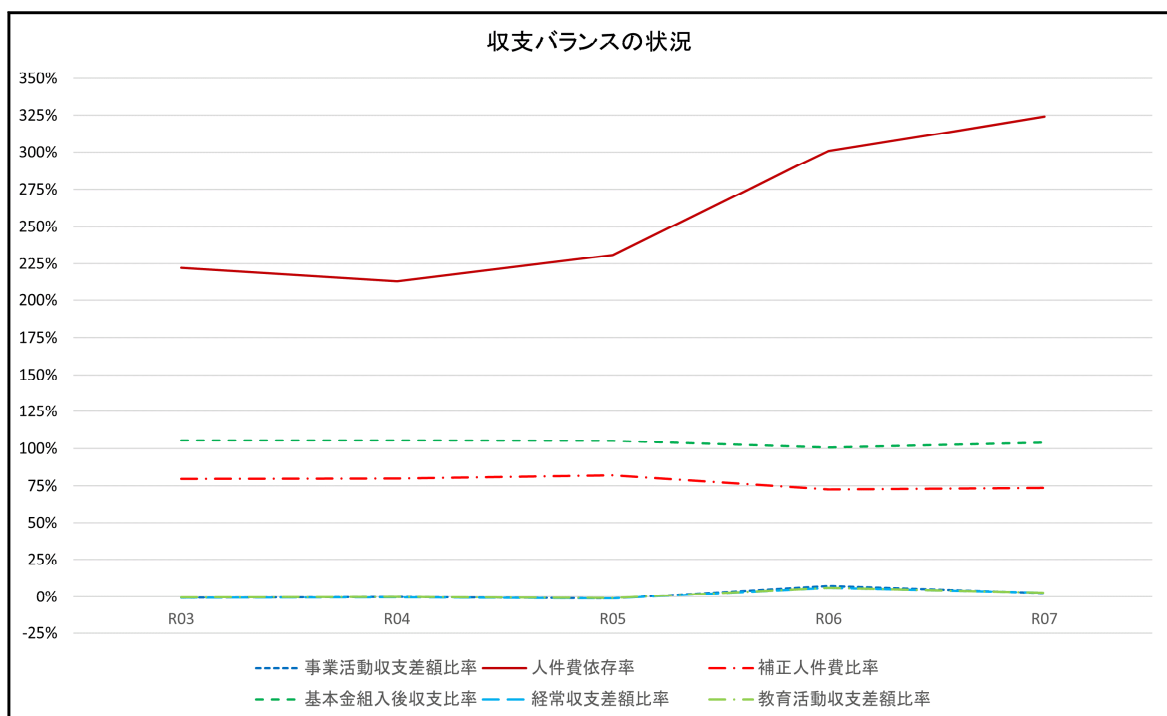
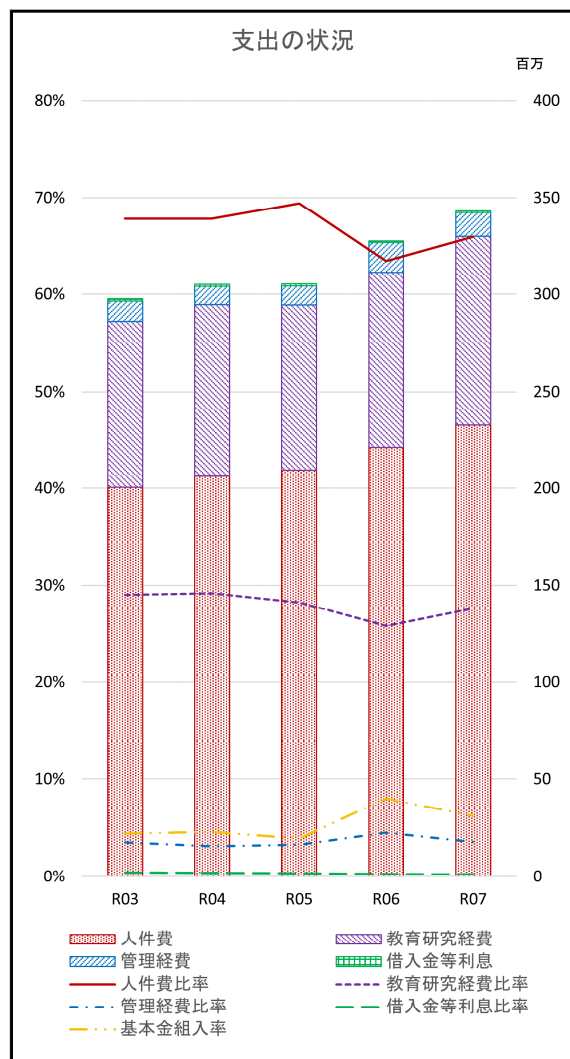
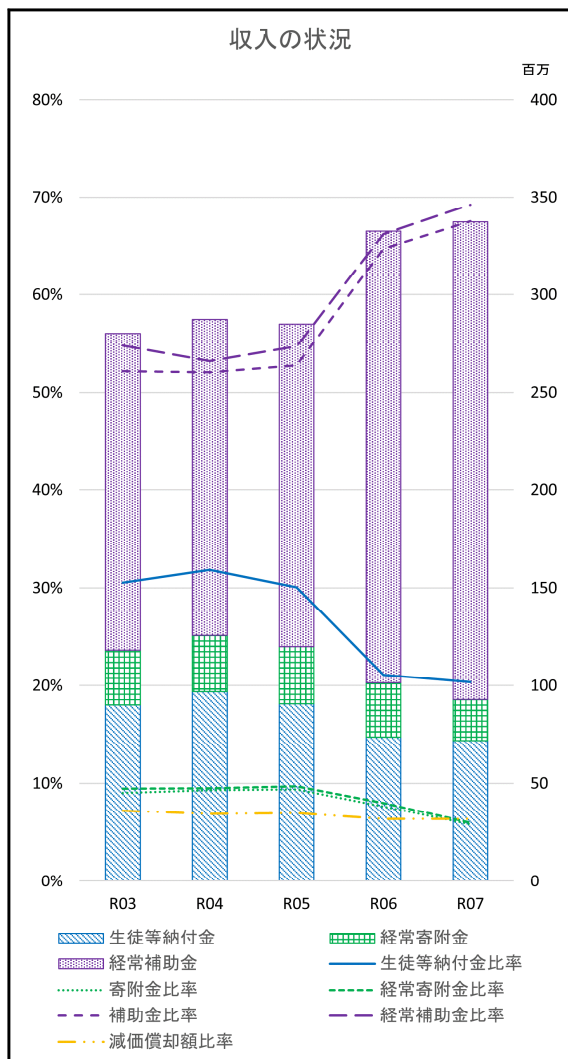
収支の状況	R03	R04	R05	R06	R07	R06全国平均	R06京都府平均
事業活動収支差額比率	-0.7%	0.0%	-1.1%	7.4%	2.6%	3.3%	6.1%
人件費依存率	222.2%	213.0%	231.1%	300.8%	324.1%	125.0%	108.6%
補正人件費依存率	79.5%	79.7%	81.9%	72.7%	73.6%		
基本金組入後収支比率	105.4%	105.6%	105.2%	100.6%	103.8%	108.2%	102.0%
経常収支差額比率	-0.8%	-0.4%	-1.1%	6.1%	2.8%	-0.2%	3.2%
教育活動収支差額比率	-0.4%	0.0%	-0.8%	6.3%	2.9%	-1.2%	2.3%

収入の状況については、令和6年度から幼稚園が施設給付型に移行した事により、令和5年度以前と単純に比較することができない。

生徒納付金比率が令和3年度よりも下がっているのは、施設移行型による影響もあるが、令和6年度よりも納付金額が減少していることに留意をしなければいけない。

支出の状況については、令和3年度からの5年間で大きな動きはない。管理経費比率・基本金組入率が低めに推移している。管理経費比率は低めが良いとされている指標だが、管理経費には広報費も含まれるため、全国平均や京都府平均と比べると低めで推移している点に留意が必要になる。

収支の状況は、人件費依存率を除く指標のいずれも上下に振れているので、判断が難しいところもあるが、令和6年度からの2年間はマイナスになっていない。また、人件費依存率が令和6年度から大幅に上昇しているのは、生徒等納付金に対する人件費の比率をみる指標であるため、施設給付型移行の影響を受けたものと思われる。補正人件費依存率（補助金と生徒等納付金に対する人件費）では減少していることから、収支の状況については、令和6年度の施設給付型移行により一定の改善傾向がみられると判断できる。

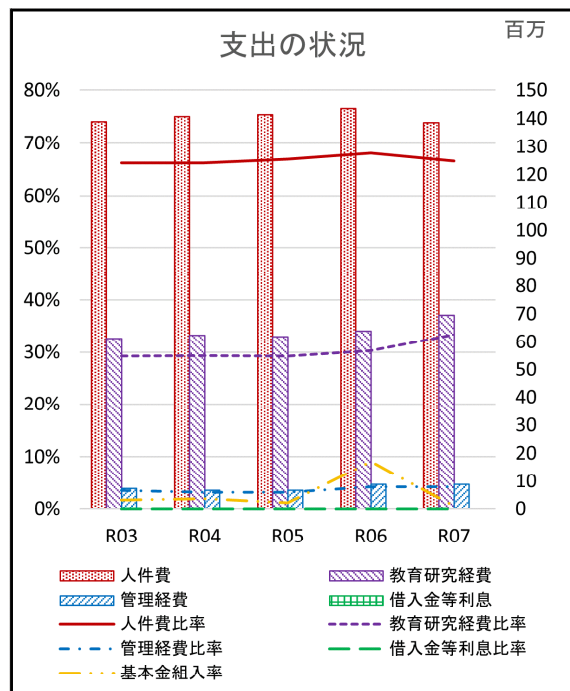
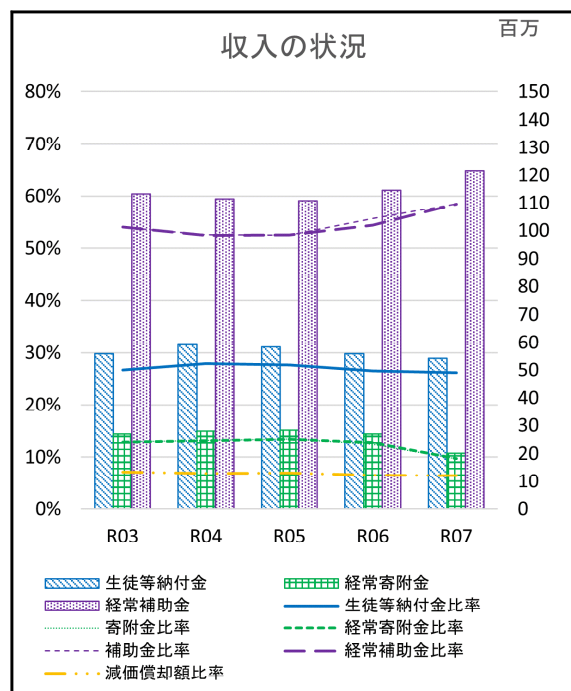


②一燈園高等学校・一燈園中学校・一燈園小学校の収支の状況

収入の状況	R03	R04	R05	R06	R07	R06全国平均	R06京都府平均
生徒等納付金比率	26.6%	27.9%	27.6%	26.5%	26.1%	52.5%	55.1%
寄附金比率	12.9%	13.1%	13.4%	12.4%	9.7%	3.4%	3.9%
補助金比率	54.0%	52.5%	52.4%	55.6%	58.4%	35.6%	33.8%
減価償却額比率	7.1%	6.9%	6.9%	6.5%	6.5%	10.8%	9.0%
生徒等納付金	55,853,100	59,278,300	58,407,000	55,906,500	54,294,600		
経常寄附金	26,957,459	27,876,495	28,301,547	26,892,491	20,180,200		
経常補助金	113,201,800	111,424,800	110,823,865	114,575,400	121,629,200		

支出の状況	R03	R04	R05	R06	R07	R06全国平均	R06京都府平均
人件費比率	66.2%	66.2%	66.9%	68.1%	66.6%	63.0%	59.6%
教育研究経費比率	29.2%	29.3%	29.2%	30.3%	33.4%	28.7%	27.9%
管理経費比率	3.5%	3.1%	3.2%	4.2%	4.3%	6.9%	8.2%
借入金等利息比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.3%
基本金組入率	1.6%	1.9%	1.1%	9.1%	0.5%	8.1%	4.3%
人件費	138,908,981	140,737,738	141,400,280	143,535,140	138,548,423		
教育研究経費	61,258,025	62,361,325	61,793,827	63,790,925	69,554,647		
管理経費	7,286,765	6,653,988	6,683,118	8,872,685	8,856,464		
借入金等利息	0	0	0	0	0		

収支の状況	R03	R04	R05	R06	R07	R06全国平均	R06京都府平均
事業活動収支差額比率	-6.0%	-3.7%	-4.6%	-5.0%	-8.6%	2.5%	5.3%
人件費依存率	248.7%	237.4%	242.1%	256.7%	255.2%	119.9%	108.1%
基本金組入後収支比率	107.8%	105.8%	105.8%	115.5%	109.2%	106.1%	99.0%
経常収支差額比率	1.1%	1.4%	0.7%	-2.6%	-4.2%	1.0%	3.9%
教育活動収支差額比率	1.1%	1.4%	0.7%	-2.6%	-4.3%	0.2%	3.9%

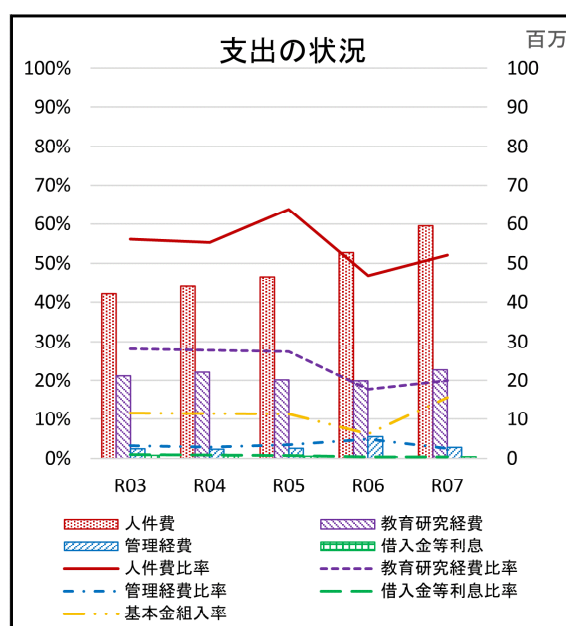
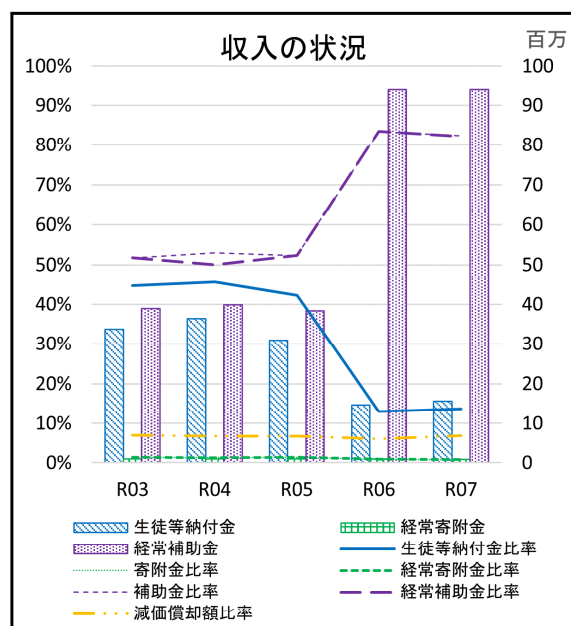


③いずみ幼稚園の収支の状況

収入の状況	R03	R04	R05	R06	R07	R06全国平均	R06京都府平均
生徒等納付金比率	44.7%	45.6%	42.3%	13.0%	13.7%	52.5%	40.7%
寄附金比率	1.4%	1.4%	1.4%	0.9%	0.8%	3.4%	1.5%
補助金比率	51.7%	53.0%	52.3%	83.4%	82.3%	35.6%	47.8%
減価償却額比率	7.0%	6.8%	6.8%	6.0%	6.8%	10.8%	9.0%
生徒等納付金	33,623,700	36,331,302	30,932,178	14,693,325	15,672,443		
経常寄附金	1,021,007	1,032,000	1,015,307	1,024,000	898,000		
経常補助金	38,903,000	39,830,612	38,292,565	93,910,325	93,942,913		

支出の状況	R03	R04	R05	R06	R07	R06全国平均	R06京都府平均
人件費比率	56.1%	55.2%	63.7%	46.8%	52.1%	70.0%	82.0%
教育研究経費比率	28.2%	27.8%	27.5%	17.7%	20.0%	25.3%	35.1%
管理経費比率	3.2%	2.8%	3.5%	4.9%	2.4%	6.3%	9.3%
借入金等利息比率	1.0%	0.8%	0.7%	0.4%	0.3%	0.1%	0.1%
基本金組入率	11.5%	11.4%	11.3%	6.2%	15.6%	6.9%	9.9%
人件費	42,191,295	44,018,357	46,586,585	52,757,105	59,492,326		
教育研究経費	21,177,888	22,171,321	20,126,332	19,898,508	22,812,350		
管理経費	2,381,909	2,270,345	2,547,290	5,496,847	2,795,834		
借入金等利息	757,353	649,366	542,261	435,475	363,600		

収支の状況	R03	R04	R05	R06	R07	R06全国平均	R06京都府平均
事業活動収支差額比率	11.2%	14.1%	4.6%	30.2%	25.5%	0.7%	-14.4%
人件費依存率	125.5%	121.2%	150.6%	359.1%	379.6%	268.3%	201.5%
補正人件費依存率	58.2%	57.8%	67.3%	48.6%	54.3%		
基本金組入後収支比率	100.3%	100.3%	107.6%	74.4%	88.3%	106.6%	127.0%
経常収支差額比率	11.2%	13.3%	4.6%	30.2%	25.2%	-1.6%	-26.5%
教育活動収支差額比率	12.2%	14.1%	5.3%	30.6%	25.5%	-1.9%	-26.9%

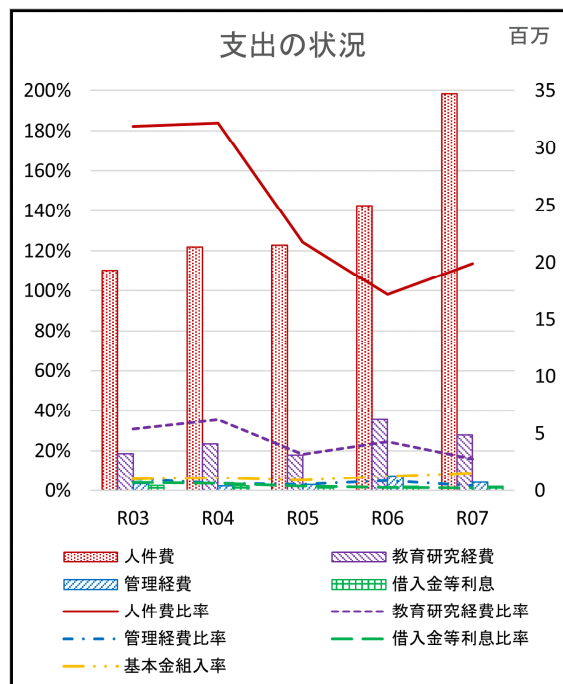
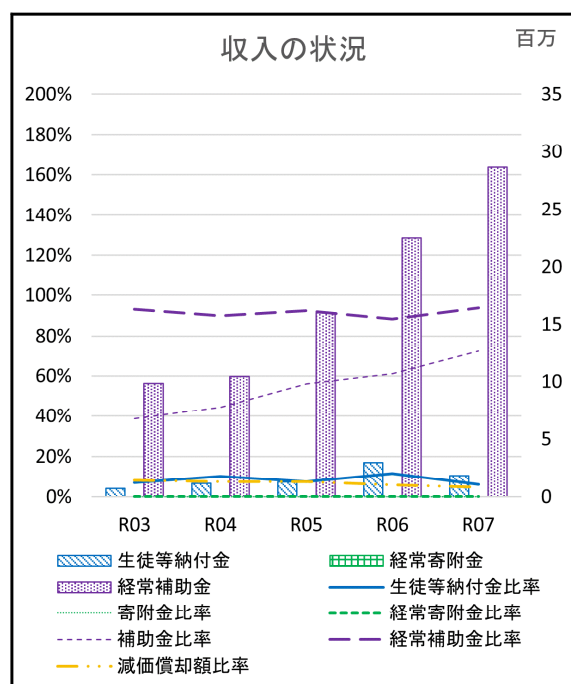


④燈影ホームガーデンの収支の状況

収入の状況	R03	R04	R05	R06	R07	R06全国平均	R06京都府平均
生徒等納付金比率	6.9%	10.1%	7.5%	11.7%	6.1%		
寄附金比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
補助金比率	38.5%	44.3%	56.1%	61.0%	72.4%		
減価償却額比率	8.2%	7.4%	7.6%	5.9%	4.8%		
生徒等納付金	732,874	1,177,866	1,289,005	2,971,735	1,856,846		
経常寄附金	0	0	0	0	0		
経常補助金	9,847,080	10,438,020	15,977,870	22,491,438	28,667,017		

支出の状況	R03	R04	R05	R06	R07	R06全国平均	R06京都府平均
人件費比率	182.3%	183.9%	124.5%	98.0%	113.7%		
教育研究経費比率	30.7%	35.4%	18.1%	24.4%	16.0%		
管理経費比率	5.9%	3.4%	3.0%	5.0%	2.4%		
借入金等利息比率	4.1%	3.5%	2.3%	1.4%	1.1%		
基本金組入率	5.9%	6.4%	5.3%	7.2%	8.8%		
人件費	19,304,327	21,358,832	21,494,898	24,974,502	34,727,750		
教育研究経費	3,254,165	4,108,489	3,133,123	6,218,288	4,875,184		
管理経費	620,556	400,211	523,901	1,280,063	732,754		
借入金等利息	436,466	410,425	389,101	366,667	344,179		

収支の状況	R03	R04	R05	R06	R07	R06全国平均	R06京都府平均
事業活動収支差額比率	7.6%	-11.6%	10.4%	10.9%	-4.7%		
人件費依存率	2634.1%	1813.3%	1667.6%	840.4%	1870.3%		
基本金組入後収支比率	98.2%	119.2%	94.6%	96.0%	114.9%		
経常収支差額比率	-123.0%	-126.2%	-47.9%	-28.9%	-33.2%		
教育活動収支差額比率	-118.9%	-122.7%	-45.7%	-27.5%	-32.1%		



⑤学校法人の資産の状況

資産の状況	R03	R04	R05	R06	R07	R06全国平均	R06京都府平均
固定資産構成比率	84.6%	83.7%	85.0%	83.6%	78.6%	84.4%	87.1%
有形固定資産構成比率	78.7%	77.1%	76.0%	73.6%	71.0%	62.7%	64.9%
特定資産構成比率	5.9%	6.6%	7.6%	5.0%	6.9%	17.3%	17.7%
流動資産構成比率	15.4%	16.3%	16.4%	21.4%	22.1%	15.6%	12.9%
減価償却比率	44.4%	44.4%	44.4%	47.9%	47.9%	57.4%	63.1%
有形固定資産	512,465,664	495,698,405	476,624,169	478,543,376	467,738,569		
特定資産	38,371,479	42,471,479	47,471,479	32,651,479	45,521,979		
流動資産	100,319,087	104,600,985	102,717,030	139,349,950	145,201,965		

負債の状況	R03	R04	R05	R06	R07	R06全国平均	R06京都府平均
固定負債構成比率	14.0%	12.6%	11.5%	10.3%	9.1%	8.0%	9.0%
流動負債構成比率	2.8%	3.1%	2.7%	2.8%	3.6%	6.2%	5.6%
総負債比率	16.8%	15.7%	14.1%	13.1%	12.7%	14.2%	14.6%
負債比率	20.2%	18.7%	16.5%	15.1%	14.5%	16.5%	17.1%
固定負債	91,052,190	81,177,190	71,839,190	66,726,190	60,152,090		
流動負債	18,423,553	20,029,928	16,784,551	18,474,807	23,489,596		

自己資金の充実の状況	R03	R04	R05	R06	R07	R06全国平均	R06京都府平均
純資産構成比率	83.2%	84.3%	85.9%	86.9%	87.3%	85.8%	85.4%
繰越収支差額構成比率	-48.2%	-51.3%	-55.6%	-54.1%	-55.9%	-27.4%	-24.0%
基本金比率	89.3%	90.8%	92.6%	93.4%	95.8%	95.1%	95.4%

長期資金と固定資産の状況	R03	R04	R05	R06	R07	R06全国平均	R06京都府平均
固定比率	101.7%	99.4%	97.4%	90.4%	89.3%	98.3%	102.1%
長期固定比率	87.1%	86.4%	85.9%	80.9%	80.8%	89.9%	92.4%

負債への備えの状況	R03	R04	R05	R06	R07	R06全国平均	R06京都府平均
内部留保資産比率	3.0%	5.3%	8.3%	9.1%	12.2%	19.7%	15.8%
運用資産余裕比率	0.12年	0.16年	0.22年	0.22年	0.28年	1.06年	0.87年
退職給与引当特定資産保有率	69.5%	71.6%	69.0%	62.3%	65.5%	74.5%	89.0%
積立率	30.9%	32.4%	33.7%	30.2%	34.3%	60.3%	57.5%

資産の状況については、概ね令和3年度からの緩やかな変動であり、急激な変化はない。有形固定資産構成比率は以前から全国平均や京都府平均と比べて高い傾向があるが、特定資産を積み立てていることで、緩やかではあるが低下傾向にあり、特定資産構成比率や流動資産構成比率が上昇傾向にある。

負債の状況、長期資金と固定資産の状況については、全国平均や京都府平均と大きな違いはなく、令和3年度からの流れとしても緩やかな低下傾向にある。

自己資金の充実の状況のうち、純資産構成比率、基本金比率は全国平均や京都府平均と概ね同じ数値にあり、緩やかな上昇傾向にある。繰越収支差額構成比率は令和5年度までは全国や京都府と比べて非常に低い数値で低下していたが、令和6年度以降は好転まではしていないが、低下の傾向がほぼ横ばいといえる状況に落ち着いた。

負債への備えの状況は、令和3年度からは緩やかに好転している言える状況ではあるが、

全国や京都府の平均と比べると著しく低い数値となっている。

